京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 前金參ヶ月 廣告料金 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號

八月一日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇政界漸く靜穩か 浦鹽出兵宣言不日發表

卅一日の閣議の結果は未だ聞く處なきも政府の態度既に決定し此の際聯合國との協調を破るが如き事無かる可く茲に外交上の大問題も一段落を告げ近日中外交調査委員會開會の上政府は浦鹽出兵に關する宣言を發表す可く政界も一應平靜に歸せりと見る可しと政友會某領袖は語れり因に政友會野田總務は卅日午後寺內首相を訪ひ重要問題に就き會談する處ありたり（東京特電）

◇西政府承認如何

デルベル氏は西伯利政府を代表し聯合國に對して承認を求めたるが多分聯合國は回答せざる可し（哈爾賓電報）

◇チ軍健鬪敵防備

沿海州方面にてはマジャール兵チェック軍に對して交戰しイコウィッチ指揮官たりチェック軍は二十六日烏蘇里河左岸の敵を擊破せり敵は鐵橋を破壞しイマン河には砲艦を泛べ追擊に備へ居れり（哈爾賓電報）

◇滿洲里 邦人被害多大

滿洲里にてセ軍敗退後邦人の被害多く在留邦人全部[illegible]衞に引揚げたり（哈爾賓電報）

◇セ軍枝隊退却

セミヨノフ枝隊は七月二十五日夜半三方面より敵を受け遂に滿洲里に退却せるが支那軍は敵の國境進擊を防止せり（哈爾賓電報）

◇過激派本部移轉

ワエルフネウヂンスクにありし過激派本部はチタに移轉せり（哈爾賓電報）

◇獨經濟會議組織 對英米競爭と近東經濟開拓

コロンガゼット紙の所報に據れば獨逸經濟會議なるもの組織されたるが其の發會に當り同會議長は全世界に亘りて經濟の重要なる事と英國が帝國郵船主義を採用せる事に就て詳述せり尚大藏次官は曰く或も重要なる事業は英米兩國の競爭に對し近東に於て經濟上の開拓を行ふに在り同會議は又歐洲に於て經濟的平和を實行し再び海外よりの原料品供給を確立するにあり同會議の豫備委員は獨逸國內の重要なる實業専門家より成れりと（倫敦電報）

◇墺國新內閣成立

墺國新內閣（ハイシライン）成立し二十六日首相は新任の演說を爲し次で豫算討議に入りガリシヤ不分割を可決し議會は夏季休會に決せり（巴里電報）

◇聯軍東北方前進

米佛聯合軍はフエルアンタルドノアを占領し目下東北方に前進中なるが獨軍は急遽ヴエール河方面へ退却しつゝあり（巴里電報）

◇在佛戰線米軍數

米軍の佛國戰線に在る者既に百廿五萬に達せり（華盛頓電報）

◇銀行家借欵同意

米國々務省發表に據れば米國銀行家は政府の調停を承認し支那の借欵に應ずる事に同意せり（紐育電報）

◇團匪賠償返附提議公電

日本政府より日支親善を圖り支那實業の振興に資する爲め或條件の下に團匪賠償金全部を支那に返附する提議あり右に關し章駐日公使より措置如何訓令を請ふとの公電ありたり（北京特電）

◇定例閣議開會 重要事項協議

三十一日の定例閣議は午前八時半より首相官邸に於て開會外交上の重要問題に關して協議せるが閣議半にして後藤外相は十時五十分參內 陛下に拜謁重要事項奏上同十一時過ぎ退出し再び閣議に臨めり（三十一日午前十一時東京發電延着）

◇總督東京出發

長谷川總督は一日午前八時三十分東京發歸任の途に就けり（東京特電）

◇總長山公訪問

上原參謀總長は三十一日午前十時國府津著小田原古稀庵に山縣公を訪へり（東京特電）

◇大隈侯避暑

大隈侯は夫人綾子嗣子信常氏同夫人外家族同伴卅一日朝上野發輕井澤に赴けるが當分滯在の由（東京電話）

◇期米市場休止

東京期米市場にて三十一日中物三十一圓二十錢を唱へ猶騰勢の氣勢ありしが取引所にては營業細則第三條第一項に據り二節以後の賣買を休止せり（東京特電）

◎墨西哥の近狀 日墨貿易障碍

△革命の終熄 墨西哥は其後も北方に於ては間歇的に『ビア』の騷擾を演ずるも兵力及び資力足らざる爲めに大なる勢力を形成するに至らず目下山谷に立籠もり殆んど山賊同樣と化せり又南方モロレス州に於てはサワダの雌伏するあれども是れとて從來の山賊的惡行を爲すに止り敢て革命を以て目す可くもあらず要するに墨西哥の革命騷亂は大體一昨年の五月を以て終熄せるものと見て可ならん從つて現狀を以て推移するものとすれば墨西哥は從前の平和時代の繁盛を現出するものなるが唯何分にも同國政府に武器を有せざると財力の乏しき爲め此種鼠族の跳梁をも鎭壓する能はず之れが爲め目下同國の交通機關は頗る不完全の狀態に陷りつゝあり

△交通阻塞と物資 即ち從來米國との交通はランズ及びエレバソの兩線に據りしもの今日に於てはエレバソ線の其交通杜絕し只ランズ線あるのみ又歐洲巴との交通も米國鐵道に據つて歐洲航路の利便を得ざる可からずして直接同國との交通に從事する者は只西班牙船あるのみ又轉じて本邦との間を見るに東洋汽船の船舶がサイダグロースに到着するに過ぎず而も是れとて五十噸の船腹を耕すに止れり斯くて同國の交通機關は殆んど八方塞がりの狀態に陷りつゝあるものと云ふ可し元來同國は戰前迄は各種の商品を佛、英、獨等より輸入し來りしものなるが戰亂勃發と共に其輸入杜絕したるを以て其後米國の製品を鐵道に據つて補給することゝなれり併し乍ら此兩國間は從來感情上の行掛り面白からず殊に又米國の參戰せる爲め物資の缺乏すると共に物價は擧つて大暴騰を來せり茲に於てか墨西哥人は現在已むを得ずして運賃高の關係上米國と小包取引に從事し居れども素より僅かに小口取引に止まれば商品の潤澤を期する能はず加ふるに墨西哥は本年饑饉の年柄と稱せらるゝ爲め物資はますます缺乏を訴へ之れが爲め本邦より其供給を仰がんと該頃來同國の委員來朝する處ありたり

△對墨貿易障碍 由來墨西哥國は獨り其政府のみならず國民共擧つて本邦に對しては好感情を有し居れり之彼我國民の性情格容貌等の酷似するものあるの外從來の歐米人の壓迫羈絆に對する反感作用も加味せるに基くもの、如し從つて本邦の對墨貿易は頗る好望の地位にあるものなり併し乍ら既記該國に對する本邦船腹のなきことゝ外該國の貨幣及び爲替狀態不規則なる爲め貿易上の一大障礙は橫はり居れり即ち同國は曩に革命政府の不換紙幣の濫發ありたるが民間の流通途に利かざるに至りたる爲め更に他の紙幣を發行したるも其強制通用力の威信消燬なく行はれざるより今日に於ては金貨取引に改定せらるゝと共に米國のペソ七十五仙の流通能力を有するのみとせり從つて該國に爲替銀行をも有せざる本邦に對しては妙か金貨なれば一弗二ペソの公定相場を以て授受するも紙幣なれば一弗[illegible]らざる支障橫はるものと謂ふ可し之れが爲め現に昨年の貿易額の如きも僅かに四五十萬圓內外に過ぎざりき

△寶庫と移民 而も亦墨西哥人は本邦人に對し特種好感情を有するより歐米人の該國に於ける經營は或は歡迎せられざることも本邦人の同國に於ける企業は寧ろ庇護せらる可し同國には石炭、金銀、銅等の天與の寶庫あるの外、最も多大なる前途の存在することも認められ又太平洋沿岸には石油の開發ならあり又米の如きも年三回以上の收穫ありて其他各方面に開拓發展の餘地綽々たり然れども世上に唱道せらる、移民問題に就ては斷じて絕對に賛意を表するに躊躇す其自ら資本を擁して企業を營むものにして西班牙語に通ずるものは成功を贏ち得んも然らずして彼の地人に使役せらるゝことを目的とする渡航は恐らく或は失敗に終るならんか蓋し今日革命は終熄せりと云ふもの、尚は各地に小暴動起る爲め各種の事業は殆んど中絕の姿に陷りつゝあり

◎全鮮營農狀況 對總人口數八割餘

昨年末現在全鮮農業者數は內地人九千八百十一戶、人口三萬七千八百八十四人朝鮮人二百六十三萬一千四百四十九戶、人口一千三百八十四萬七千六百四十二人外國人中支那人七百二十九戶、人口二千二百六十八人其の他の外國人五戶十二人合計二百六十四萬一千九百九十四戶人口一千三百八十八萬七千八百六人にして總戶口數に對する農業者の割合は戶數に於て

△八割二步强 人口に於て八割一步に當り之を內鮮外國人別に區分するときは內地人の戶數一割人口一割一步朝鮮人の戶數八割四步人口八割三步支那人及び其他の外國人の戶數一割四步人口一割二步に相當するを見る而して之等經營狀況を見るに專業農業者戶數二百二十二萬一千二百七十二戶兼業者戶數四十二萬七千七百二十二戶にして農業者總戶數に對する割合は專業者八割四步兼業者一割六步なり地主は七萬三千百九十八戶自作は五十一萬七千九百九十六戶自作兼小作は百六萬一千四百三十八戶小作は九十八萬九千三百六十二戶にして其割合地主は二步八厘自作一割九步六厘

△自作兼小作 四割二厘小作三割七步四厘なりとす農業者の各道に於ける分布狀況を見るに內地人農業者數は慶尚南道の千九百九十六戶七千七百七十六人を最多とし京畿道の千八百二十四人之に次ぎ江原道の六十五戶二百三人を最少とす朝鮮人農業者數は全羅南道三十一萬八千六百六十戶百六十三萬五千二百七十二人慶尚北道三十一萬四千四百十九戶百六十六萬七百五十人慶尚南道二十六萬五千八百六十四戶百三十九萬七千三百七人の

△順序にして 成鏡北道の六萬七千四百五十九戶三十二萬八千八百三十二人を最少とす外國人中支那人は京畿道百八十九戶六百四十五人平安南道百三十三戶四百二十七人等を最多とし次に經營別に觀るときは地主は平安北道の一萬二千五十一戶を最多とし京畿道の九千三百八十四戶黃海道の八千四百十六戶之に次ぎ咸鏡北道の二千四十五戶を最少とす小作者は京畿道十一萬六千百九十二戶全羅南道十一萬四千九百三十八戶慶尚南道十萬六千九十戶の順序にして咸鏡北道の七千七百三十三戶を最少とす前年十二月末日現在の

△農業者數に 比すれば內地人は三十四戶六百八十七人朝鮮人は七百七十三戶十三萬二千四百七十九人支那人は三十四戶七十六人を增加し其の他外國人は二戶八人を減少し合計に於て八百四十戶十四萬九千二百七十四人の增加を示せり又農業專業者二萬六千八百十四戶を減じ兼業者二萬七千六百五十四戶を增し自作一萬二千百九十九戶自作兼小作一萬一千九百二十二戶を減じ地主六千八百七十二戶小作一萬八千五十四戶を增し即ち專業者より兼業者に移らむとするの傾向あり又健實なる自作若くは自作兼小作の階級は減少して地主及び小作增加し幾分土地兼併に移るの傾向を示せり

◎財政獨立計畫成る 稅制改正の一段落＝財源と方針

朝鮮總督府特別會計に對する一般會計よりの補給は大正八年度に於ける三百萬圓を以て打切りとなり大正九年度よりは豫定の如く全然一般會計の補給を仰がざる筈なるが曩に總督府當局が六箇年計畫の下に財政獨立案を樹て大正三年度より之が實行に着手するや其當時に於ては一般會計よりの補給期滿了後は財政獨立に要する財源として成る可く直接稅の賦課を手控へ主として間接稅の增徵を主とする方針の下に稅制の整理改革を行ひ最後に於て地稅及び煙草消費稅の二目に增稅をなし他は自然增收により之を補ふべく豫定し地稅に於て約四百萬圓の歲入增加を爲し得る餘裕を存し更に煙草消費稅令施行により年額約二百萬圓內外の增收を企圖するに於ては假りに一般會計の補給斷絕し而も時勢が推移發展するに伴ひ總督府の財政膨脹するも得べしとの見込なりしに其後偶々歐洲戰亂の勃發に會し大正五年度に至り當時の一般經濟界は全く不振の狀態に陷り其影響は關稅、遞信、鐵道等の主要事業に波及し財源の歲入は見込額に比し多額の減少を見るに至りたるを以て既定計畫に基づき朝鮮酒類及び登錄稅の稅率引上をなし更に酒造稅なる新稅を起し且つ所得稅法の一部を朝鮮に施行して歲入の增加を計りし一面歲出の節約を爲し一般會計補充金の減額に對應する方針を採りしが同年度豫算實行の時期に入るに及び米價の回復、作物の豐穰、時局に伴なふ輸移出貿易の旺盛、鑛業の勃興等朝鮮

△好材料相踵いで起り從つて一般經濟界も久しき沈衰の域より脫出し延いて專賣稅及び營業稅、官業收入に好影響を齎すに至り經濟狀態往年の形勢を一變し一般の改善發達、各種事業の興隆により施設全道に普遍すると共に產業方面も大いに伸長ありしも大體に於て各般の施設に

△優に獨立の 目的を達し得べしとの見込なりしに其後偶々歐洲戰亂の勃發に會し[illegible]

△優先權調查 殖銀株式の申込に際し農銀の優先權を與へし株數は七百三十二口五萬六千六百九十六口にして其の優先權を行使せしもの四百四十八口四萬九千四百十一口となり結局の棄權者は二百八十四口七千二百八十五株にして其の申込高の百分率は口數六十一なり而して各農銀は株式全額拂込濟の如し（平安農銀は株式全額拂込濟）にて優先權を附與されし株主一人もなかりき）

▲各農銀と優先權

	優先權者數	優先權數
漢湖	一九四	二二、五五七
慶尚	一一九	五、〇三三
全州	一〇二	七、五三三
光州	一三一	七、五一六
咸鏡	一九六	四、〇五六
合計	七三二	五六、六九六

▲優先申込數

漢湖	一七七	二一、七五七
慶尚	七八	三、五九九
全州	四五	六、六〇八
光州	九七	六、八九四
咸鏡	五一	二、一五三
合計	四四八	四九、四一一

▲棄權者數

漢湖	一七	八〇〇
慶尚	四一	三、四三四
全州	五七	一、五二三
光州	一四	六二二
咸鏡	一四五	一、九〇五
合計	二八四	七、二八五

乃ち右の如く漢湖農銀の申込百分比例が口數九十一株數九十六を示せるに咸鏡農銀の百分比例が口數二十六株數五十三となり居れるより見れば咸農の株主が交通不便の地に多數居住せるためと見るを至當とすべしと

◎大貨物運送改正

滿鐵京城管理局線と日本郵船會社並に大阪商船會社航路の連帶大貨物運送取扱び手續き中左の通り改正し八月十一日より之を施行する事となりたり

▲日本郵船 草梁驛を經由し元山港と京管局線各驛所（咸鏡北部を除く）との相互間 元山驛を經由し城津港と京管局線各驛所（咸鏡線北部との相互間）

▲大阪商船 草梁驛を經由し元山港と京管局線各驛所（咸鏡線北部）との相互間 元山驛を經由し西湖津新浦城津淸津港と常局線各驛（咸鏡線北部を除く）との相互間 淸津（淸津驛を除く）とその他の京管局線各驛所（元山驛を除く）との相互間

◎電線復舊す 漸次速達せん

滿鮮佐世保大連間海底電信線の不通以來內鮮間電報の輻輳を來す事甚だしかりしが去月二十六日夜半より全通し其の後幾分緩和されしが一方六月以降不通となり居たる釜山下關間の海底線も卅一日午後一時より開通したるを以て朝鮮內地間の電線は全部復舊したる譯にて通信狀態今後は漸次良好なるべし但し今日の狀態にては朝鮮より內地に達する電報は甚だしく遲延を來し內地特に大阪方面より來るものは內地方面の輻輳に基づき猶ほ遲延を免れずと

◎辭令

七月二十五日附左の通り辭令ありたり

甘蔗義邦 上瀧基 總督府試補を命す

殖銀設立彙報

▲常務委員會 殖產銀行設立事務所にては兩三日中に常務委員會を開き應募株式の割當其の他に付協議決定する由なるが常任委員の一人たる美濃部總裁は東上中にて其の歸期尚ほ確定せざるに付總裁の意見は電報にて徵する事となるべく又尚ほ委員會には鈴木、小原、荻田、川上、三島の五委員列席の筈なり

▲農銀株券提示 現在六農工銀行の二十圓拂込株式一株の所有者並に拂込額二十圓相當の株式所有者に對し朝鮮殖產銀行の新株一株を割當つる事は制令にて定められ居れるが其割當を受くべき株主は八月十五日迄に各農銀を經由して殖產銀行設立事務所に株券を提示し事務所より割當證を受くる事となり居れるが其の期日の迫るに十數日に切迫せるに拘らず目

◎京畿農事獎勵會

京畿道農事獎勵會は去月三十一日午後二時道廳內會議室に於て第八回總會を開催したるが當日は間宮子爵以下中堅會員二十名京畿道長官參與官第二部長事務代理技師書記技手事務員等列席し會長事故不參の故を以て副會長宋子爵議長席に著き左の報告及び討議並に訓示講話ありたり ▲大正六年度經費收支決算報告 ▲大正七年度經費收支豫算並に事業計劃 ▲道長官訓示 ▲第二部長地稅改正に關する話 ▲中會事項

◎內野少將挨拶

內野新任第四十旅團長は一日午前總督府に山縣政務總監を訪問し新任の挨拶を爲したり

◎寶城郡參事更迭

全羅南道寶城郡參事崔在鶴氏は六月二十日依願免本官となり其の後任として蔡正鉉氏就任せり

◎千葉縣學事視察團

一行は一日出發滿洲各地視察の上十二日頃入京夫れより開城仁川大邱其の他を視察すべし

人事消息

▲池川奈次郎氏（土木局技師） 一日附九日間の豫定にて慶尚北道迎日郡管內へ出張を命ぜらる

▲都澤正章氏（庶務課技師） 一日附十日間の豫定にて忠淸南道管內へ出張を命ぜらる

▲工藤平南道長官 三十一日附往復二十四日間の豫定を以て產業視察の爲め滿洲へ出張を命ぜらる

▲李全北道長官 一日總督府に出頭

★茶前酒後★

今度龍濟光の廣東唯一の根據地であつた雷州が陷落したに付て思ひ出す面白い話がある▲南軍の將軍中に林虎と云ふ頗る付の豪傑が居るが彼は負けぎらひで日本人の氣性に似て居るので却々評判が好い男だ▲本年三月陽江の一戰に武運拙く龍濟光軍に破れて退却する途中▲何かの機で綿入の上衣を着た儘水の中に落ち込んで危ない處をやつと部下に引き上げられた▲イヤ先生立腹せぬ事か眞ッ赤になつて今に見ろ己が龍濟光軍を取る迄は何うしても此の上衣も脫がねば斬髮もせぬと怒鳴つた▲今度の雷州戰にも勿論先生も加はつて居たに相違ないが▲彼の男の事だから此頃の炎熱でも乾度綿入を着て長髮を振被つて花々しく奮戰したに違ひない▲が今度は愈々衣更へも斷髮も出來るのだから先生の得意思ふべしであると某支那通は語つて居た▲巴里は目下料理人の缺乏で困り拔いて居るさうな▲其理由は空中砲擊や巨砲々擊の場合に安全な所に閉ぢ籠つて居る料理人は往々逃げそゝくれて危險に遭うからである▲其處で市中の料理人は續々南の方の安全な地方へ逃げて行つて仕舞ふ▲其結果此頃の巴里の新聞には斯う云ふ廣告が澤山揭げてある▲料理人雇ひ入度し俸給一箇月八十五フラン（三十圓）砲擊の際には絕對に安全なる深くして堅固な窖がある▲巴里は物騷千萬だが其御人心は平穩であるこは流石は巴里ッ子だけある

◎店員二十名募集
年齡二十五歲以上甲種商業學校卒業生又は同等以上の學歷ある者にして確實なる保證人を要す希望者は履歷書携帶午前九時より正午迄に本人來談あれ
京城本町二丁目電話三一三、三四五番
鮮滿貿易商 同和棉行出張所
本支店所在地 釜山、京城、大連、奉天、哈爾賓、营口

朝鮮書畫家列傳 定價九十錢
朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎閣下題字
貴族院議員 德富猪一郎閣下序文
元京城學校組合會議員 元朝鮮總督府員 吉田英三郎著
發行所 京城太平通一丁目（振替京城三〇〇番） 京城日報社代理部

移轉御披露
今般左記新築家屋へ移轉仕候
京城本町二丁目廿三番地（京城銀行前）
花本高等洋服店
電話四八番振替京城九六一番

金持になる近道は外にない、廿圓の資本で安全に儲かる株式投資法說明書申込次第送る
東京市芝區愛宕町二ノ一四 電話芝三九九六番
內外諸公債株式 債券現物問屋 振替東京四二〇五〇番
葵屋商店

解雇廣告
店員 鮮人 山田華吉事 裴書房
右之者今般都合に依り解雇仕本日限關係無之此段廣告候也
七月三十日
京城永樂町貳丁目 合名會社 橋本商會京城出張所 電話一五七九番

文藝俱樂部
八月號 小說 春榮 上司小劍 ／ あひ言葉 ／ 月見の宴 ／ チヤカホイ旅行 ／ 怪談玉菊燈籠 ／ 鐵砲腹 ／ 田樂藝妓の今昔 ／ 牛太郞と云ふもの
定價廿五錢 博文館

◈電話架設 長距離一九二〇番
京城本町四丁目 徵兵保險株式會社京城出張所

大正七年七月一日改正現行

三十一日の午後＝＝小魚捕り＝＝（鷺梁津鐵橋附近にて）

◎連日の宴會攻に タヂタヂの兩將軍

出發準備に忙しい松川大將 忙中閑話に興ずる立花中將

今上陛下が『立花は部下の將校を啖鳴るこ聞いたが畢程でもない唖』こ仰せられた

出發に餘日ない松川軍事參議官を龍山の官邸に訪ふて刺を通ずれば野津副官が忙しさうに應接間に現はれて『お氣の毒ですが、閣下は連日の送別會でお疲れの上に

◆只今裸に なつて出發の準備中ですから御面會はお謝絶して居ます、ごうぞ惡からず』こ言つて腰さへ落付かぬ向ひの立花中將官邸を訪へば中將は朝六時頃から來訪客が入替り立替り押寄せ今やつこ客足が絶えた許りこ言ふ應接間に通れば浴衣がけの中將は忙中閑ありこ言ふやうに寛いで雜談を試みたが談偶々詩談に及べば『明治四十五年三月我輩は今上陛下が皇太子であらせられた時甲府へ

◆幹部演習 に出掛けて一週間程殿下に扈從して居つたが殿下は誰からお聞きになつたのか『立花は部下の將校を大分啖鳴りつける相ぢやが見受ける所啖鳴ほごでもない』こ仰られたので恐懼した事があつたが其時傍に居つた今の波多野宮相が『立花は詩を作ります』こ言上したので殿下は早速『土地の爺が詩を作つたのがあるお前は其詩で作つて見い』こ御下命があつた

◆演習中で はあるし此役も先帝陛下の御不例なぞで遂々御下命にお答へする事が出來なかつたが奉職さして朝鮮へ赴任を命ぜられ拜謁を仰せ付けられた時侍從武官長から甲府で御下命になつた作詩は什したこお尋があつたので

突兀凌雲漢。玲瓏登崚嶒。巍峩冠萬國。維嶽仰精神。
陛上龍符瑞道新。謳歌百萬歡中民。請看玉富峰頭雪。照遍海東千古春。

詩の二詩を奉つたが、其時我輩は陛下が強記で在らせらるゝ事に驚いた』

◎本野子又重態

本野前外相の病氣は其後稍快方に向ひ家人も漸く愁眉を開きたるが頃日來の炎暑に復々逆轉し昨今は微熱を伴ない食事も嘔吐して容易に止らず重態の模樣なり（東京特電）

◎御避暑御見合せ

兩陛下行幸啓仰せ出されず 外交上の重要案件の突發し

天皇、皇后兩陛下は八月三日午後御出發日光田母澤に御避暑の御豫定にて下検分も終り居るも行幸仰出されず多分行幸延期さ相成る可く拜察せらる是こ共に外交上の重要案件の突發し陛下には痛く御軫念の御爲なりさ拜察せらる（東京特電）

◎違反者の出ぬ樣にと

製造煙草値上當日の京城府 府吏員出て改正定價章を附

八月一日から朝鮮の貢税が改正されて製造煙草消費税が定價の二割五分となり販賣者の手許に持越せる貨に對しては定價の二割五分から既納消費税（定價の一割）を控除した

◆殘額の 税金を納附する事こなつた結果八月一日から京城府廳財務係りでは持越貨に對する申告書の提出を受理し持越品に對する税金を徴收し引換に持越章及び改正定價章を交付しつゝある京城府廳に斯の如く處理しつゝあるものは普通朝鮮の製造煙草に對するものゝみであるが其他の外國製造煙草に關しては京城病院跡に臨時府廳から出張し定價の

◆引上を 爲したるものにして其の定價に該當する引上定價章なきものに對して改正定價付のスタンプを押捺し併せて税金の徴收もやつてゐる之に關し府當局の一人は『元來京城府内丈けに二千人以上の販賣業者がありまして其の内百餘人卸賣者がある樣な有樣ですから仲々混雜です府城内院の方へも八九人の人を出して居ますし市中にも多數の吏員を派して夫々

◆違反者 のない樣に取計らつてゐます始めの内は八月五日迄に此れ丈けの手續を爲して仕舞ふ豫定でありましたが都合に由つて一日、二日、三日の三日間に總てを處理して仕舞ふ事になりました、だから一府多忙を極めて居る

ので十當府では即ち販賣業者の方で持越品の調査を行つて申告書を受け付に提出する其れを府の控へこ一聯

◆對照し て受付番號札を交付し持越品に關する税金を納付せしめて引換に持越章及び改正定價章を交付する事になつてゐます即ち販賣者側から云へば申告書こ税金を持つて出頭し持越章及び改正定價章を府から受け取つて歸る迄の事である一時は現品を持込むものもあつた樣だが之れは要らない事にしました……』こ語つて居たが賦課稅係りの窓口には受付―受付番號札交付―稅金徴收―封緘章及び定價章交付等の貼紙を爲し各部署に就いて事務を處理しつゝあつた

◎元山海水浴へ 日曜當込の臨時列車

京城管理局の新らしい計畫

元山近海は名勝地こして海水浴の地こして名高し昨今は避暑客が盛んに乘込むが滿鐵京城管理局では此等避暑客の便を計つて京元間の臨時納涼列車を運轉する由同列車は

◆土曜日 京城を發して日曜日一日を海水浴又は見物に過ごし其翌日京城に歸着する計畫であるため時間の節約並に日中の苦熱を避けるために往復共夜行運轉をなす可く第一回は八月三日午後十一時京城發四日午前七時半元山着同日午後十時元山發五日午前六時京城着、第二回は八月十日京城發、其の

◆時刻は 第一回通り第三回は八月十七日發、十九日歸着

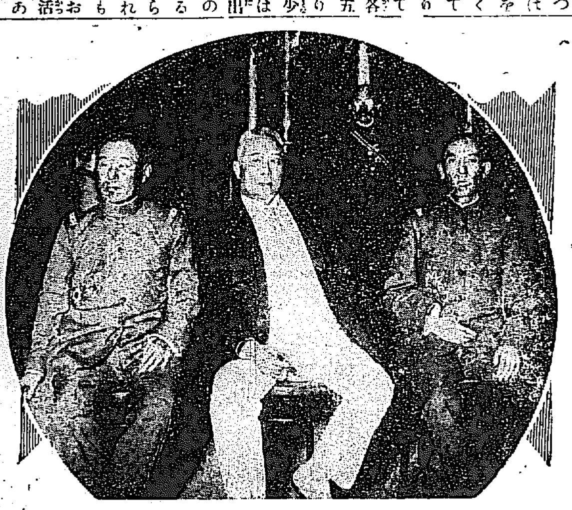
汽車は三日京城を出て五日の朝歸着で同列車は釋王寺觀覽客のため特に釋王寺山門前臨時停車場に停車せしめ又元山行の往路に限り停車せしめ又元山着前十時二十分）普通列車（元山著前十一停車せしむる由以上の列車には救

◆看護婦 等の雜務をなし又サンドウヰッチ等を販賣せしむ、因に八月四日は元山に於ては長德山の東比須神社大祭こ共に海開きの賑ひあり市中各所には飾物、催し物等あり夜は煙火の打揚げ等ある可く汽車は各驛賃を五割こし京城、元山間賃を五割こし元山以外の乘降は謝絶する由

◎珍らしく婦人連も交つて船迹將軍の留別宴

◇◇綺麗る朝鮮ホテルに開催の歡會◇◇

賑の發起者長から立花憲兵司令官こして足掛五年の久しきに亘つて京城に駐在してゐた古海中將は此度第十七師團長に榮進し朝鮮を去るに臨むで卅一日の夜涼風よく入る朝鮮ホテルに大宴會を開いて一夜の名殘を惜んだ此の夜は餘り例の無い婦人達も數十人加はつて食堂に異彩を見せたるが内鮮人各方面の紳士淑女を細羅して來客二百五十名こ註せられた食堂で形の通り挨拶や謝辭やらが濟むこ餘地少く詰め込まれて居た多數の主客は一時にドット後庭の綠陰に吐き出された空晴れて星光る下の八角の亭を取捲いてお田や鮨、冷しるこなごいろいろの模擬店が設けられてあつて八つの店には夫れ夫れ配置されて接待甚だ力めて居たお京城選り拔きの紅裙連が數十名も客のお腹が略出來上つた頃野活動寫眞が始まり西洋滑稽物等であつて皆飽くまで涼を納る、のであ



（右古海中將中央山縣政務總監左立花中將）

◎奪はれて行く吳工廠の職工

當局は取締中

吳工廠にては近來職工の需要多く他廠よりも同工廠の職工を誘拐する者多きため吳市は取締を嚴しくし誘拐者を取押へ嚴罰に處し居れり（吳電報）

◎貨車二十輛脫線して粉碎

函館線の椿事

三十一日午後十時三十分函館線小樽俱知安間にて貨車二十輛脫線粉碎せり（東京特電）

◎大連暴風雨

海陸の被害多し

大連にては三十日午後暴風雨襲來し三十一日午後に至るも尚ほ止まず海上陸上共に被害多き模樣なり（三十一日大連特電）

◎京城市中荒しの兇賊就縛

◇藝妓置之助の部屋に忍び入つた曲者◇

慶尚南道三郡八吹村生れ前科一犯の土工大田事山田清春（二二）は七月中二回程本町二丁目の林田金次郎方に忍び込み衣類三點（三十五圓）を窃取し同月十二日夜には南山町二丁目の

◇藝妓置屋 若水の便所の窓より忍び込み就寢中なる藝妓呂之助外一名の部屋にて金指環及び縮緬の羽織外數點（百十六圓）の物を窃取し又は旭町二丁目清谷千代方の勝手口より侵入して現金、金指環、懷中時計百三十九圓の金品、窃取し臟物は當時寄寓し居れる明治町二丁目

△緒方某の 内縁の妻長崎市下博多町生れの小溝しづゑ（三二）に處分方を依賴し、しづゑは佐藤きみこ偽名して各町の質屋に入質しやり其の臟品こして清作より三回を受け取り尚ほ一部の品物は清作自身に入質し或は借金の抵當に流用しゐたることを本町警察署にて探知し兩名を引致取調べの上八月一日檢事局へ送れり

◎救護班浦汐著

志賀團長一行の日本救護班は廿九日午前十時浦鹽に到着せり（東京特電）

◎素晴く賣れた電車回數乘車券

値上を見越ての買占で一日三千冊平均

京城電氣の豫告せる電車回數券値上廣告の掲げられたる去る六月十八日以降同三十一日迄の回數券發賣狀況を聞くに平素は一日の賣上額四十回券三百冊內外同二十回券二千冊位のものなりしに愈々八月一日より値上こ知るやソレ今の內にウンこ買つて置けこ許りに役所會社の大集團から大商店は云ふも更なり個人でも懐都合の許す限り十圓二十圓三十圓分こ買入れし向夥からざれば十二日間に於ける回數券の賣行きは實に素晴しきもいにして一日平均四十一回券二千冊二十回券二千冊位の賣上げありたりこ

◎宇野造船事件は社長の横領

既報岡山縣宇野造船會社不正事件に就き社長收監重役等多數召喚されしは買船の差金備領等の不正事實に由るこ（大阪特電）

◎電車の下敷こなつた小僧

危ない所で命拾ひ

卅一日午後五時頃十五六歲位の小僧が自轉車にて南大門通朝鮮新聞社前の電車線路を橫切らうこした其刹那新龍山行の六十一號電車が驀進して『アッ』こいふ間もなく自轉車を跳飛ばしたので小僧はもんごり打て救助網の下に敷かれて仕舞つた通行人も驚いたが運轉手は尙更驚いた逸早くブレーキを掛けるこ共に車臺を飛降り救助網を跳除けて見るこ此の小僧よくよく運の好い男こ見ねて擦過傷一つ受けて居ないそこで運轉手もヤット安心して手取り足取り小僧を引摺出してやつたが小僧は車臺の下を出るこ直ぐ自轉車に飛乘つて極り惡る相に逃げ出した折柄三伯の中には一人の外人があたが小僧が逃け出すこ眞赤になつて『ア小僧惡いある惡いある』こ頻りに憤慨してゐた

◎鐵道院の損害

火藥爆發で二十萬圓

既報の下關火藥爆發の爲煽りし鐵道院の損害は約廿萬圓なり（東京特電）

◎鰒に中毒して一家三名頓死

山口縣玖珂郡鳴門村字大畠なる船乘藤重幸太郎一家三名の者は鰒を食し中毒して絶命せり（山口電報）

◎狂犬

京城蓬萊町二丁目二番地趙致誠長男趙仁成（八こ）は六月十一日午後二時頃同宅附近に於て狂犬らしき一頭の野犬に左脚の膝頭を咬傷されしが件の野犬は直ちに捕へ獸醫診斷の結果狂犬こ判明し即日撲殺せり一方仁成は總督府醫院にて應急手當を加へしも俗數回往射したるのみにて繼續治療を怠りし爲め病毒全身に感染して七月二十九日狂犬病こ確定し二晝夜煩悶の末三十一日午後十時頃呻吟しつゝ慘死せり

◎獨軍需品工場爆發

二百九十二の死者を出す

獨逸サクソニー國ブラウエンの軍需品工場爆發し從業員その他に二百九十二名の死者を出せり（倫敦電報）

◎朱安鹽田のハゼ釣禁止さる

朱安鹽田の好釣場こして名高く京仁間より漁具を肩にして出かける者は尠くないが之がために鹽田の堤防を踏潰され製鹽作業の妨害を受くるなご迷惑尠からず時には制止せんこする鹽田人夫こ口論喧嘩をなす亂暴漢もあるこかにて一昨年來鹽田區域內の釣魚投網漁等を嚴禁し居るに付き好釣者は朱安鹽田に踏入らざる樣注意ありたしこ

◎セ軍に投ずる前法相の子息

尾崎行輝氏自家の飛行機を携さへて近く出發せん

民間飛行家尾崎行輝氏は自己所有の飛行機を携へセミヨノフ軍に投ずべく瀨ノ尾榮太郞氏こ帶同出發すべし（東京特電）

◎阿部氏家族引上

本社長阿部充家氏家族は二日午前八時四十分發南大門驛列車にて出發當地引上げ東上すべし

流燈參千 篝火五百 打揚仕掛 煙花撩亂

漢江觀火大會（八月二日）開催

◆八月二日午後八時より開催す◇觀火會場は新龍山人道橋上より◆舊龍山―麻浦前面に至る◇水上―沿岸―沙上一帶◆會場は豫て社告したる通り◇人道橋下の左側綠陰下にして來賓席並に招待席の設備あり◆舊龍山の沿岸にも亦別に招待席の設あり◇但し御案内狀を差出ある各位は是非共人道橋下の來賓席に御光來を願ふ

京城日報社 每日申報社

演藝案内

有樂館
早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話第七五・二〇五番
當る八月二日より公開午後七時より 米國ユニヴァサル社レッドフェザー特作 ▲社會劇『三日の月』全五卷 ▲連續活劇『ダイヤの一』…

浪花館
電話二六〇番 本町二丁目 ▲京阪落語講談大會 ▲落語 ▲人情噺 ▲大切 …

黃金館
電話二六三七・二二六六 大然色活動寫眞館 ▲新派劇 ▲喜劇 …

大正館
電話八七三 櫻井町 ミカエル會社傑作 ▲滑稽活劇『チャプリン新頭』…

移轉廣告
左記新築工場へ移轉仕候
仁川府金谷里三二一
大正七年八月一日
朝鮮燐寸株式會社 電話一五一番

パインビジネスペン
好評經濟的事務用金ペン付 定價壹圓九拾五錢 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

第貳拾貳回決算報告 貸借對照表 自大正七年一月至六月

朝鮮化學製藥株式會社（京城古市町）

資產之部	
未拂込株金	三七、五〇〇、〇〇〇
登錄商標權	[illegible]
製藥原料及容器包裝	[illegible]
機械器具什器	[illegible]
製藥品高	[illegible]
得意先貸掛金	[illegible]
出資引當金	[illegible]
當期損失金	[illegible]
合計金	[illegible]

負債之部	
資本金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	[illegible]
假受金	[illegible]
原料及諸品買掛	[illegible]
雜收入金	[illegible]
契約保證金	[illegible]
合計金	[illegible]

右之通リニ候也 大正七年七月三十日

畑兄弟硝子工場
京城古市町電話二七四六番 主 畑 六一
弊工場特製エキス瓶に限る 其他一般の御注文に可應候

第拾五期貸借對照表（大正七年六月三十日現在）滿洲商業銀行

資產之部	
拂込未濟資本金	[illegible]
貸付金	[illegible]
手形貸付	[illegible]
當座預金貸越	[illegible]
荷付爲替手形	[illegible]
割引手形	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
仕拂承諾見返	[illegible]
有價證券	[illegible]
諸公債證書	[illegible]
社債券	[illegible]
株式	[illegible]
營業用土地建物什器	[illegible]
現金有高	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	
資本金	[illegible]
公定積立金	[illegible]
定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
特別當座預金	[illegible]
定期積金	[illegible]
通知預金	[illegible]
別段預金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
仕拂承諾	[illegible]
借入金	[illegible]
再割引手形	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未經過利息	[illegible]
當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定

當期純益金	參萬九千七拾貳圓八拾九錢也
前期繰越金	[illegible]
合計金	[illegible]

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定積立金	貳千圓
別段積立金	壹萬圓
役員賞與金	參千八百圓
役員退職慰勞資金	壹千五百圓
株主配當金（年壹割）	貳萬四千五百圓
後期繰越金	五百七拾貳圓八拾九錢

右之通候也
大正七年六月三十日
株式會社滿洲商業銀行

專務取締役 藤平泰一
取締役 張本政
取締役 山田造酒治
取締役 式村茂
取締役 杉原佐一郎
取締役 藤平伊藏
監査役 平尾爲彥
監査役 石崎久三郎

北支那古代 文化の跡 床しき古美術

工學博士 關野貞氏談

(續) …兎に角雲門や雲岡の如く大規模ならざれども北齊時代の者としてかく完備してゐる者は他にない樣であります一體青陽は北齊時代の別都であつたから隨つてかゝる大規模の石窟が當時作られたので此の石窟の上なる山の絶頂には其頃の避暑宮の址があるさうです

◆◆支那 支那は既に三代周漢時代に高度の文化を有し六朝時代に至り佛教藝術が印度西域地方から輸入せらるゝに及び益々複雜となつて來ましたそして其發達した文化を朝鮮や日本に更に輸出して其國々の文化の淵源をなしたのであります故に

◆◆東洋 文化の發達變遷を知らんとせば是非共支那の研究から始めねばならないのであります又日本や朝鮮の事を研究するにしてもやはり支那を研究しなくては充分な研究は出來ないのであります其研究は一方には書物で調べ他方には古代文化の遺蹟たる實物を調べなくてはなりません然るに支那には昔から革命の戰爭や外國の侵掠や其の他色々の事故の爲め又支那人は遺物の保存に對し深き注意を拂はなかつた爲め今では

◆◆壞れ るものは凡て壞れ壞れる事の出來ない石造とか塼造とかいふもののみ殘つて居るのでありますしかし之れは地上の事でありまして地下にはまだ何程貴重の遺物が埋まつて居るか知れないのであります而して現在の支那人の思想や社會狀態を正確に知らうとせば支那の昔からの思想の變遷や社會狀態推移の有樣を知らなくてはなりません是れ文獻上の研究の外遺物の研究の忽がせにする事の出來ない理由であります

◆◆鄰國 とか同文同種とか云ひつゝ日本人は未だ實物研究に多く注目しなかつた間に西洋人は早くから之れが研究を進め支那本部は勿論新疆地方にまで盛んに出かけて深甚なる研究の結果を發表し又此等遺物の蒐集を盛んに行ひつゝありました然るに今回歐洲の大戰勃發以來其の研究は一時中止の狀態になりました爲めに一時非常に高價を稱へた古器物なども非常に安くなつて參りましたから研究の資料として蒐求するには甚だ好い(完)

經濟鐵道たる 平元線(二)

◆平壤商業會議所調査◆

◆平元線の基幹 平元鐵道は現平壤驛湖里間十七哩の所謂現セメント線を基幹として延長すべしとの說最近に至り最も有力となり當局に於ても其の方針を以て調査を進行せしめ居れる模樣なるが愈々同線を基幹として敷設するとせば其處に

◆三個の比較線あり◆

其一は勝湖里驛より貫泉を經て江東郡の中央なる平坦部を貫通して江東邑に出づべし貫泉附近は無煙炭藏頗る豐富なるを以て之れが開發に資すること多大なるべし

◆其の二は勝湖里驛◆より三登に出で同地に於て大同江の支流たる南江に依る舟運貨物並に黃海道遂安郡方面の物資を吸收し平坦なる三登江東間道路に沿ひ江東邑內を距る東北十町餘に出づる線なり其の三は勝湖里線橋梁より分岐して大同江本流

◆江岸に出で麥田を◆經由し同地に於て奧地の廣濶なる大同江の下航貨物を吸集して江東に入づべき線なるが麥田經由線は大同江岸に於て隧道掘鑿の必要あるも麥田の稍や下流に灘瀨ありて舟航者の難惡すること甚しく平壤まで下り一日半、上り三日を要するを以て

◆麥田に於て十分に◆大同江下航貨物を吸收し得べきのみあり同方面と大同江上流地方の物資及び平壤との取引關係は極めて密接にして加ふるに同地方一帶各郡は農林鑛作物等

◆埋藏せる豐富頗る◆多し斯の如く現在の產業狀態は未だ不振の域を脫する能はずと雖も年次長足の進歩發達を遂げつゝあるが一度鐵道の敷設を見其の

◆文明的利器の恩惠◆に浴するに至らば各般の產業何れも絕大なる振興を見るや必せり就中最も囑目すべく所謂平元鐵道の中間物資として該線の價値を大ならしむるものに鑛山並びに森林の開發を擧げざるべからず(平壤)

歐米人の好く 朝鮮產の苹果

內地產よりも朝鮮產を好む 作付反別五十町歩

黃海道黃州の特產物たる苹果は本年氣候の順調なりしと蟲害を免れたるため早熟、中手、晚手共(大豐作)である一年三萬箱を出すと云ふ黃州の果樹園穗田秀一氏の苹果園を覗いて見ると大小無數の紅ゐ色したのやら未だ青いのやらが鈴成りに生つてゐる穗坂園主曰く今市場に出ます苹果では『紅魁』と云ふのですコ、十日もすると『祝』といふのが出ますが之れは『紅魁』と異つて永く貯藏にたへます品は大概平壤鎭南浦安東縣邊へはけます殊に最も晚手の『國光』等になると奉天から又ハルビン邊迄出荷します奉天やハルビン市場に出るのは第一が朝鮮產次が內地產、最後が支那の山東產です朝鮮產を最も歐米人が好きます何故かと申しますと苹果の樹齡が若いから隨つて苹果が柔らかで美味だ日本人はリンゴの皮を剝いて食ますが外人は決して皮を取りません絹の片で苹果を一寸拭いて食ます內地產は大概樹齡が二十年か三十年を經て居りますので果質が堅くつて西洋人は好きません山東省產は迚も品質が粗惡で問題にならず隨つて滿洲行きの苹果は殆んど朝鮮產であるこいうてよいのです一昨年あたりは內地品と滿洲市場で競爭の姿となりまして大變困りましたが本年から或程度迄價格の勉強は必要ですが品物に至つては決して他と比較して遜色はないつもりです(鎭南浦)

ロイド檢查

大連港にロイド檢查員を設置するに付き大連海運業者間にて種々協議の結果檢查員手當として一箇月千圓宛都督府より補助を仰ぎ適當なる檢查員の人選を爲すべく先づ補助下附の請願を爲す事となりたり(大連)

大連に商銀

大連商業銀行は資本金二百萬圓四分の一拂込みを以て營業を開始する筈にて夫れ夫れ創立準備中なるが近く實現を見るべく專務取締には都督府民政部の赤塚[illegible]郎氏決定せる由(大連)

大連と蘭領事

大連駐在和蘭國副領事西事務は從來在大連米國領事エー、エー、ウヰリヤムソン氏處辨し來れるが今回大連居住和蘭人ファン、アルベルダ氏名譽副領事に任ぜられ同氏委任狀到達迄副領事事務執行方を外務大臣より假承認せられたり(大連)

大連特產物相場

特產物相場大豆三圓十錢豆粕九十七錢五厘豆油十四圓三十錢先物大豆八月三圓三十二錢九月三圓三十四錢十月三圓三十二錢五厘豆粕月限一圓四錢五厘九月一圓六錢十月一圓十錢豆油先物八月限十四圓七十五錢(廿九日)(大連)

安東縣米信 外國米の輸入

時局問題急迫を告げ飛電一度安東に到るや安東の米界は一時に沸騰し相場は殆んど棒立の姿にて三百五十丁の大暴騰を來し此の勢ひならば在米僅々四十餘石と註せられたる折柄なれば三十五圓の關所を突破する何の苦もなき事ならんと思はれ一般は强く待ち構へ居りしに豈計らんや爾來頓と氣配昂らず恰も氣ぬけの有樣にて相場は殆んど釘付の如くにして騰落なく漸く二十九日五十丁許り上押したるが聞く所によれば支那貿易商協隆洋行は鳥港並に北滿方面の時局問題發覺の事あるを豫想し外米多數を買付時期の至るを待ち居たりし際東亞一度非常の急を報ずるや直ちに該外米を求めて盛んに輸入し來り市場に上し一方安奉沿線は勿論奉天地方へまで搬出したる結果是れに氣先を挫かれ上騰すべき米價は已むを得ず一報するの餘義なきに至れるもの、なりと因に外米輸入高は目下其の筋に於て內々調査中

西伯利の六勢力

★露軍及び獨墺軍と支那兵★

獨逸の鋭敏な作戰はレーニン政府を利用して(一)露國の勢力を減殺し(二)聯合國との離間を圖り(三)自己の進路を開き(四)侵略の手を徐々に伸ばさんと企て歐露より漸次東露に及ぼさんとし獨逸は十一萬の俘虜を以て一箇軍團を編成し西伯利鐵道を經濟的に占領せんとの大方針を確て次に過激派は獨墺俘虜の在る所

◇◇影の形に添ふが如く◇◇萬は居る而して之れに對する勢力を別てば、(一)セミヨノフ軍、(二)カルムイコフ軍、(三)チエック軍の三勢力及び(四)支那防備軍である而して此四勢力中チエック軍は最近最も注目を惹起したもので、西部西伯利地方に於けるチエック族が獨墺軍の手に壓迫を受け居る爲め之れを救助せんとして六月二十九日

◇◇チエックスロワーク◇◇が市內に蜂起したので新教育を受けて歐洲戰場に在つたものだけに勢力がある、第四の支那軍は獨墺軍が既に北滿洲を脅かし恰も同地方に侵略の手を進めて居るから

◇◇支那兵約○○を此◇◇方面及び滿洲里方面の國境の防備に動かして居る彼我勢力の所在は大略以上の如くであるが更に尚ほ注目すべきは、歐露に約四萬の武裝せる獨墺俘虜があつて、歐露方面に對する中國の軍勢六十師團の兵と內外相呼應して、劣勢とは言へヂリヂリと歐露侵略の手を伸ばしてゐる、然し現在では尚決して

◇◇恐るゝには足らない◇◇第一過激派の如きは權力と食糧の爲めには今日に如何樣にも變心する性質を持つて居る、第二に露西亞の國民は漸くレーニン政府を嫌惡し、獨の手先に使はれて居る事を悟つて來た、第三に俘虜と言ひ歐露方面の正規軍と言ひみな

◇◇劣勢な老兵級の者◇◇で我精銳の一兵をだに動かすに足らぬ雜兵共であると某軍事通は慨然として語つた。

兇賊十一名破獄

看守を突落し劍を奪ひて斬る 看守に重輕傷者多きも全部逮捕す

關東都督府旅順監獄にては廿八日午後三時頃看守安藤喜藏が支那人外十名の馬賊重罪犯人を入浴せしめ終りて階上の監房に護送し歸らんとして中途まで階段を登る時突然十名の囚人は安藤看守に組付之を階下に突き落し何れも浴室より逃走せんと企てたるを看守佐藤辨は階下にて之れを目撃したる看守佐藤辨は咄嗟に拔劍して現場に飛込みたるを馬賊の首魁は佐藤看守を取卷き其の右手を棍棒にて打ち看守が堪へかね取落したる劍を奪ひ而して看守の頭上に斬り付けたるが安藤看守は直ちに警部長に急報したるより看守長[illegible]、押丁川村某等駈け付け囚人二名を射倒し此の格鬪を聞きたる監督部長浦河一郎、看守設樂正男、押丁川村某は現狀に馳付け囚人等を逮捕せんとしたる際浦河部長は前頭部に負傷し設樂看守は右手に輕傷を負ひ川村押丁は右手の藥指と小指とを切落されたるが一同手傷に屈せず奮鬪し其の場に於て七名を取押へたるが殘り四名の囚人は二手に分かれ內二名は裏庭に飛び下り炊事場より出刃庖丁を盜み一名は鍛冶工場より三尺餘の鐵棒を取り出して東門に向ひ當番看守渡邊守雄を矢庭に引き倒し鐵棒にて潜り門の錠前を叩き取りて逃走したるを以て渡邊看守は直ちに之れを追跡せるが此の時表門に向ひたる二名の囚人は表門の守備の嚴重なるを見て引返し裏門より逃走何れも裏山手に向ひて逃げ登りしかば監獄にては直ちに看守の非番者を召集し東門東方の山腹を包圍し拔劍銃を以て山中を狩り立て午後四時半頃に至り全部逮捕し終りたるが此格鬪にて看守押丁の負傷者は佐藤看守及川村押丁は重傷を負ひ浦河部長設樂看守渡邊看守は輕傷を負ひ囚人中米[illegible]、郡鴻君の二名も安藤看守に短銃にて射撃され尻部及胸部其他數ケ所を斬られ何れも生命危篤なり逃走を企てたる囚人等は關東州內及び滿鐵附屬地に馬賊として出沒し强盜殺人を行ひたる者にして三年囚鄧洪臣(三〇)同孫鴻君(二七)同苦[illegible](一七)同張明[illegible](二三)年囚[illegible](三五)同[illegible]强盜初犯、强盜殺人無期懲役傳中山[illegible](三五)同强盜傷害十三年囚宋玉良(三五)同姚[illegible]山(七〇)何[illegible]旺(七〇)の十一名なり(大連)

義勇兵の眞相

事實こせば攻究を要す

中なるも何分政見にて輸入したる事とて確たる十數を示す能はざるが目下の處案外多からざるべき見込の如し(安東縣)

…奧地より歸りたる者の談に據ればセミヨノフ軍の募集に應じて東部國境にて活動し居たる我が義勇兵は過日來の激戰により多數の死者を出しセミヨノフ軍の崩壞と共に殆んど大半解散の已むなきに至りしが從來セ軍の我義勇兵に對する手當等も滿足に渡らざる爲め少數來着々引揚げ來る物既に全義勇兵の三分一以上に達し居り殊に今回の死傷者及び解散兵に對する慶弔を極め居る爲め何れも非常に憤慨し募集邦人に談判をせんとする者募集者は後難を慮れ姿を晦まし居り現に當地方にも之れが募集者二名姿を隱し居る事實あり義勇兵が大事の生命を賭して戰ひながら斯る結果に終りたるは實に馬鹿々々しき事なるも應募者中にても眞の義勇心を以て參加したるものは甚だ少く其の多くは滿手に累積の目算を樹て、應募し目的地に於ても飽くまで眞面目なる態度を採りし爲めセ軍より非常なる反感を受け日本人の名譽を傷けたるものも尠からざる有樣なれば一概にセ軍のみを責むべきにあらず殊に過日解散されたる卅餘名の義勇兵が不穩の行動に出でんとしたるも幸ひ大事に至らず數名の煽動者が拘禁されたるのみにて解決したりと云ふ如き其是非は何れにあるかは知らざれど我國の體面に關する事なれば今後多數の我義勇兵が如何なる行動を採るやとは有識者は非常に懸念し居れり(安東)

佛兵と浦鹽

京津に駐屯せる佛國軍隊は京津よりする浦鹽に向ふべき佛國兵は京津より佛兵一中隊安南兵四中隊交趾支那より三中隊にして京津よりするものは既に出發し一應上海へ向ひ同地にて交趾支那より來れるものと合併し浦鹽へ向ふべく八月一二日頃浦鹽著の豫定なり(北京)

地方民は案外 生活が樂になつた 物價騰貴と農民

昂騰に昂騰を重ねし白米は那邊にて止まず止む所を知らぬ中に未曾有の米價昂騰に際し慶尙南道に於ける鮮人經濟狀況を調査するに昨秋の棉花、米價、春蠶等の重要作物及び副業は稀有の順調にて價格は昨秋の狀態なるが昂騰し豫想外の收益ありし結果貯米を有し尙ほ昨今彼等の日常の貯へを有し本年は鮮人の生活模樣は寧ろ困窮の狀態にあらざる事は事實なり…後は麥を常食となしつゝある樣なれば外部にて想察する如く困窮の狀態にあらざる事は事實なりこは何しろ結構な次第といふべし(釜山)

群山と海水浴

◆愈々開始島に新設す◆

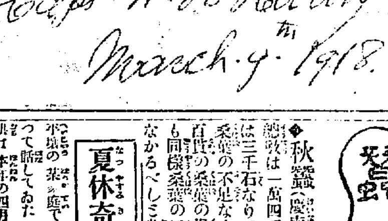
群山府吉志面に昨年の如く山紫水明の古群山島海水浴場を設備すべく企圖せられつゝありしは既報せる如くなるが群山港との距離稍々遠隔にして燃料暴騰の爲め汽機船の運航經費多大なるものあれば本場合船舶運航の方法を講ずる事とし本年夏は比較的群山港に近接せる開山島海水浴場を求め八月一日より開催するに決し目下浴場に於ける種々の準備を急ぎつゝあるが浴客送迎としては群山汽船社の發動機船盛航丸を(奇數日)隔日に從航せしめ日曜日は奇偶數日に關らず運航する由往復運賃は大人五十錢小人半額の規定なりと(群山)

總會彙報

◆最終の慶尙農銀總會 慶尙農工銀行にては二十五日第二十期最後の總會を開きたるが出席者十一名委任狀提出者六十七名此の總株式數二萬三千六百餘株…

發狂せしと傳へらる ハーデー翁筆蹟 大阪で遇つた時

米國水兵ハーデー翁が本年四月下旬發狂したりと傳へられたるが本年四月に於て偶然翁の來阪を聞き古野牧師が大阪に於て偶然翁の許を訪ひ親しく面談し來りたる由なるが本紙の記事を見たる古野牧師は記者に向つて左の樣な話をしたさうしてハーデー翁が端書に書いて古野牧師に與へた筆蹟があつたから寫眞に撮つて茲に揭載した次第である ハーデー翁は八十四歲と云ふに翁の體な元氣に驚かされた翁は頭筋や逞しい腕を出して觸つて御覽なさいと云ふので握つて見ると何かコロコロしてゐる、何ですかと聞くと鐵砲の彈丸だと云つてニコニコして居た其態度に中々愛嬌があつて全く無邪氣な子供の樣だ色々話てゐる內に日本の感想はと聞くと恰度旅順で息子が戀愛を…



ら來た亞米利加に歸らうと云氣にならない一つでも多くの學校を訪れ一人でも多くの信仰の友を得たいと思ふと云ふ、若し都合がつけば朝鮮へも行きたいとの事であつた、持ち合せた端書を出して書いて貰つたのが此の筆蹟であるグッドバイ朝鮮の兄妹に宜しくと云つて蠑螺の如な醜い手を出したが併し其の内に無限の温かさを感じたと古野氏は語つた(平壤)

電話

讀物 千台三〇一〇番へ

晉州泗川の貿易

船津を經由せる移入總額左の如し
(地) 移出 移入
三千浦 四五一九八五 六一一五九四二
船津 一九六一六六八四 七七一五六三

蠶況

◆秋蠶(慶南) 慶南の秋蠶掃立總數は一萬四千枚にして收穫豫想は三千石なりと慶南は他道の如く桑葉の不足なく春蠶の如きは約九百貫の桑葉の過剩を見たるが秋蠶も同樣桑葉の不足を見る事は萬々なかるべしと當事者は語る(釜山)

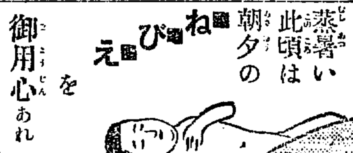
夏休奇談…平壤

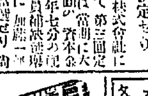
平壤の某家の庭でこんな奇談があると云つて話してゐた人がある▲私の方の子供は本年の四月から普通學校の一年へ入學しましたがこの夏休みに學校から休み中の注意事項を印刷にしたのを貰つて來ました▲面白半分に之れは何にするのかと聞きますと之れは毎日よく目につく處へ張つて讀みなさいと先生が云はれましたと答へた▲子供の云ふ通り壁に貼らして置いたが一向讀む風もないと▲お前はなぜ讀まないかと聞くと讀めないから讀まないと云ふから六ケ敷い漢字にはみんな振假名が附いてあるではないかと云ふと▲假名は一つもない六ケ敷い文字ばかりだと云つてどうしても讀まない▲よくよく調べて見ると成程假名に假名だが片假名ばかりで讀めないのも道理一年生はまだ平假名は習つて居ないのだと云ふ事が判つた

◆大邱魚菜市場 株式會社大邱魚菜市場は二十五日同市務所に於て定時總會を開き營業報告、利益金分配案を原案可決したるが分配は當期純益金千四百三十八圓九十八錢前期繰越金千五十九圓十一錢計千四百九十八圓九錢の利益金中百五圓を法定積立金に七十五圓を…積立金に八百四十圓を利益配當に千四百五十三圓九錢を後期繰越金一部繰越の件其他議事…件を附議可決せり(大邱)

◆大邱起業會社 大邱起業株式會社にては廿五日午後同事務所に於て第三回定期總會を開催したるが同社は當期に於て資本金の拂込を延期したるも兩建築の爲め二萬五千圓の當期純益を爲すことゝなり次で役員補缺選擧の結果吉武甲子男氏取締役に富樫一郎氏監査役に當選一致を以て當選せり尙同社は近く第二回の拂込を行ふべく目下利益分配案を…

贅化病院 京城明治町一丁目 電話二四〇番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り 醫學博士古城憲治

此頃は蒸暑い朝夕のねびえを御用心あれ

コドモのねびゑには 小兒解熱新藥 オインに限る 藥價十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには… 蛇印アンチピリン丸 スグ服用あれ確効あり 價十錢二十錢廿五錢 全國各藥店に有り 本舖大阪心齋橋 東京箱崎町 丹平商會藥房

日本及歐米十三ケ國專賣特許 胃腸最新藥

チスケデンチ
食慾が進まない時に食慾を促す 元氣が衰へた時に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の增進と體重の增加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈 東京本町 藥種問屋 四城商店

ヨクキク! ひぜん 芳香ひぜん水 十五錢 三十錢 六十錢
大阪市西區新町通二丁目 本舖 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

一番よくきく 龍山林藥房製劑の マラリア特効丸 藥價表 四粒入金二十錢 四十粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢 送料金貳錢 ニセモノあり御注意 本舖 龍山元町二丁目 林藥房 代理店 京城本町 合資會社 岸天佑堂 同 釜山辨天町 山黑南海堂 同 平壤大和町 大森田草藥堂支店

健胃固腸丸
下痢 食べ過ぎ、飲み過ぎ、寢冷、水傷時候の障等より起る下痢病と腹痛に偉大なる効驗あり
○常に用うれば消化を施し腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし
○暑中の衰弱した腸胃には殊更必要なり
○家庭と旅行には必ず常備せらるべし
藥價 三拾粒入 五錢 七拾粒入 拾錢 百廿粒入 拾五錢 四百粒入 貳拾錢 千三百粒入 五拾錢 二千二百粒入 壹圓
○各地藥店に販賣す 商標及本舖の名義に御注意あれ
○特に服用易き小粒製の小粒健胃固腸丸あり
○兒童用として小兒固腸丸もあり
大阪市東區伏見町二丁目 本舖 谷回春堂
東京市日本橋區新乘物町 谷回春堂擴張部
腹痛

商況

東京期米特電

昨三十一日前場中限三十一圓二十錢より更に昂騰せん勢ひなりし爲め取引所は形勢不穩と認め

二節以降の立會を停止せり

兵庫期米特電

停止

大阪期米特電

停止

大阪三品特電

未著

八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限

下關期米特電

三十一日前場 取引所は二節以降停止を命ぜり

	常限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿布棒立ち（大阪）

綿布相場は氣配強硬の裡にも前月二十四五日頃に三綾先物十一圓六八十錢迄を持合ひ居りしが綿糸の急騰に加はへ海外輸出の旺盛に依然買氣熾烈して二十九日には十二圓三十錢に暴騰し三十一日に更に**十二圓六十錢と棒立ちの急騰**を演じたるが當市中も今後の高價へ之需要季節を控えて思惑取引漸く盛んとなり相場も粗布二三十二圓に上りたるが雖屑三百二十五圓に上り綿紡は**二百三十圓**を唱へられ安値には賣應ぜず綿布は共料相場上らずと雖も各品を通じ頗る強硬なり

●三品高氣揚へ

三品は株式筋の猛進と當局の身代り思惑なし加はへて突進賣立て之に操縦し相場は月末は案外の商盛を示せり即ち二十九日の後場止めは先限三百六十八圓三十五錢に上りしが三十一日の入電は**更に五圓高**を報ぜば此後恐先或は**四百說**の實現を見るや測り難く同市況の步調より推せば今市の發合は未だ入船に接せざるも仕手の猛騰は乃至今日迄のあと共同市に多少警戒の要あらんかと

●正米逐日漸騰

一時下押し模樣に見えし釜山市場は前三十一日又々別項の如く五六十錢より八九十錢方の奔騰を傳へ**沿線各地方**も期せず**一齊高人氣**を作り昨今の過賣皆無なるのみならず當地よりの廻米皆無なるのみならず在來の植範益々擴大して何時の日か彼の地と引合ふ時期の到來するや測り難き情勢にて地場は又た漸次に減退を示せるの一方にて孰れも靜米筋は何れも**感進**の氣勢を促しつゝあり引錢き人氣見込み今朝は日本種玄米二十七圓九十五錢在來種一十七圓三十錢及品二十六圓九十錢前日来**方引締**まりたるが買人の所は概して前相標準より二三十錢方の高唱へなりし所から成行きにて眼先荷廻米狀みなしされば到安の當地は依然**高場所**を**目標に尙一段の昂騰**を續くるの外なかるべし

●內地製粉强硬

本品は小麥高米高等の刺戟を受け...

●鮮白稍々落付

鮮白米は昨日前場よりも一圓二十錢中三十一圓四十錢**二三十錢高**を示し後二十九圓六十錢見當となりしも今朝は稍々落付模樣を示しつゝあり

●大麥持合

大麥は一部に人間に思惑あるのみにて一般取引出來せず米高に連れ人氣强硬ながら相場は慘高道物九圓五十錢高思需物八圓五十錢平安物七圓五十錢と其後持合ひの裡に經過せり

●籾望入多し

籾相場の思惑買進みある爲め昨今にては玄米に比して隨分割高の上眼先多大の廻着品なきを以て引續き入氣强硬なり相場は神力種七圓十錢在來種七圓五十錢と**十錢高**の氣配なるが當分此氣配を持續するならん

●粟は仲惱み

粟は米高に連れ前報の如く相場引締まりしも地場需要のみに過ぎざれば**尙割安**ながら**仲力**鈍し相場は海上物十三圓道路十二圓五十錢四平街十二圓見當なり

●刷子類の近況

刷子原料たる豬毛粉類は漸く落付きの姿なるも何分豬毛の輸出は高調を示せるが殊に海外注文頻繁せるより昨今在荷頗る稀薄にて殆ど製造に追ほるゝの盛況なりと最近の內地歯ブラシ類は英米國を始め南米濠洲南洋南東洋方面に英國ニュートランド方面等よりの注文頻繁して氣配頗る引締り中にも...

▲八月一日前場（頭重し）

▲第一節　各地電報來著にて常地**常停止中二十六圓二十錢**と二十錢高に寄付き十六錢迄押し二十三錢と返して**新甫七十錢下鞘の二十五圓五十錢**と發會したるも賣物多く二十三錢と互落したるが押目は又買物多く七錢さ返し大激戰裡に引く

▲第二節　中二十五錢より三錢と亡り五錢先二十錢より一錢さ跳ね**十七錢**と**押し**したるも買物多く二十六錢と返して引

▲第三節　中二十五錢より七錢迄跳ね五錢先二十九錢より六錢迄押して引

▲第四節　中二十五錢先二十七錢より八錢と跳ね七錢と引

▲第五節　中二十五錢より七錢さ引先二十八錢より三十錢と返し

▲前場は**二十八錢と不勢の成行**を示して散會

▲中限㊂二十六圓二十五錢三十錢二十五錢 ㊃二十六錢 ...

仁川期米

生魚市場

⦿日の丸市場　本日は前日に比し多少廻著多かりしも相變らず仁川元山物のみにて總數少なし

仁川たい六五さわら二〇ひらす一六めじろ一二ほ一七あなご二〇にべ一 きごし一八あわび四二あゆ四〇ふか八

市場雜觀

▲天候明天昨日東京入電中三十一圓二十錢先停止さありし兵庫發電は東京中高い先延刻とあり跡**下の關高い三十二圓二十錢晴**れたり今朝の各地入電なきも**大阪は依然停止**にて立會不能を報じたる新甫は東京の如く七十錢下鞘の二十六圓上放れ

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 **寺仲買店**（カクシ）電話一五八番長一五九番 事務用一七〇番

▲新甫發會

新甫十月限は今前場豫報の如く九十錢下鞘の**二十五圓**と**五十錢**鞘**下**で發會し**十七錢崩落**さなりしも今の賣出動と小口賣物多く忽ち崩れ居る十七錢と返し三十八錢と散會したりしたるが又一面には中限の強硬なりしを乘り替買物も現はれ二十...

▲今賣出動

前月の合後の態度なりし今意木代は極めて大なる前日本を以て見たる...

向ひ賣出動...**新甫十月限**...

中限の强硬...**存外頭重き成行**を示しため...

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長四二〇番 **志仲買店**（ガクシ）

●市況と此後

錢迄擴大する...**止値の鞘は九十九**...**新米は以て渡米の爲め得**...

廣澤正次郎

米穀賣買之業內進呈　仁川米豆取引所仲買人　**廣澤正次郎**　仁川海岸町三丁目　電話長七〇番 長一六五番

●正米高を傳へて

...**依然割安思惑の買物**...

米價は熱狂時代　...**持米調査を命じ**...**十一日正午十二時の在米額**...**十石以上**...**此調査の結果**...**高値は爲に大に警戒を要す**...

仁川米豆取引所

一日の十月限

	前場
寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來高	[illegible]

賣買取組高

限月	前日さ比較
八月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]

白米標準値

三十三圓五十錢

白米小賣値

一日より
一等白米　三十四錢
二等白米　三十三錢五錢

各地商況

▲大邱米況（三十一日）　正米猛進電報延着のため期米新甫發會値段不明內地正米筋の引合は近來悉く朝鮮米に集注されり...

▲新小麥（引締り）仕向地餘り好調を傳へざるも思惑家出現の爲め當地氣配三四十錢騰進十五圓八十錢迄買氣み手あり...

塚原卜傳

第百五十三席　悟道軒圓玉口演

長一郎師十郎先生に問はれて今は包み切れませんから 長『恐れ入りまして、實は御言葉の通り私は少々望みのございまする者。新『ウム 長『仇と覗ふ其者は當時天下に聞ゆる達人、若年未熟の技倆にては中々刃向ふこと叶ひがたく、依つて先生の御高名を慕ひ、遙々當地へ罷り越し、御袖に縋つて漸々に柏劍二道の奧を究め、口廣き申條ながらまづ當國にて人にも知られ鹿非の小天狗とも申されまするやうになりましたのは皆之れ尊師の御高恩、何を以て報い奉りませうや、父も定めて草葉の蔭にて先生に向つて手を合せ喜んで居る

ことゝ存じまする、さりながら一日として忘れ得ぬは父の仇、倶に天を戴かざる締約止難く御暇を宗るに似たれども之れより御暇を賜つて本國へ乘込み、仇を一太刀恨みまする所存、運は天に在り及ぶか及ばざるかは時の勝負、實は只今父の位牌を取出し此事を告げて居りました次第、何卒心中不憫に思召され私の素志を御聞届け下さるやう願ひ上げ奉ります 新『ウムさもあらう、拙者も疾くより其方の大望ある事は察して居つた、其方の父は何人にてまた、其の仇と申すは何者か今まで問ひ糺して明さぬが、今は包み隱すに及ばぬ次第に依らば拙者も子弟の誼み、一臂の力を貸して遣はす、委細を物語れ 長『ハイ、父は佐竹家の一族にして佐竹彈正左衛門義胤、私は其倅長一郎正胤にございます 新『ウムさては佐竹彈正殿の子息であつたか、さて其仇と

く居りしならば、勝義に一臂の助力をもいたさんと思ひし位る、其上父の仇として彈正殿を討ち今や武名は海內に響く聲き渡つて知らざる者もなく、殊に劍法は古今の達人、此の新十郎も已に先年赤城の試合にて遲れを取つたる事もあり中々之れに敵することは容易でない、假令其方が小太郎に近付いても本懷を遂ぐる譯には相成らんから其邊を能く辨へて無謀の行ひをしてはならん 長『ハイ 新『止めよこいは孝子の志を無にするに似たり、また許せば愛弟を一人失はんければならぬ、捨つべきものは弓矢なりけりと藥師寺次郎左衛門の詠みし歌も思ひやられて心苦しいが、併し其方も一旦思ひ立たる事なれば强て止めもいたさぬ、下向を許すに依つて常州に立越ね立派に名乘り勝義に勝負を望め 長『それではお許し下さいますかと不けなう存じまする間より先方は

申して覗ふは同國笠間の城主塚原小太郎勝義であらうな 長『御明察にございます 新『先年奧州松島五大堂にて父上佐竹義國殿を討取つたる事は天下に隱れなし、其彈正の遺子たる御邊が再び勝義を仇と覗ふは面白し、善惡はさて置き子として父の仇を討たんとするは孝行、天理に悖りし行ひに非ざれども勝義は義士である永祿八年六月河內若江において天下の逆賊三好長慶を討取つて前將軍義輝公の恨みを晴らさせ奉り、義を天下に示したるは萬人の等しく敬む所、拙者とて當郡近

天下の達人、一太刀恨みますればそれにて本懷、生還は期しませぬに依つて先生にも之れが今世の御暇乞ひにございます 新『ウム善い覺悟天晴れである、まてまてさう事が決つたらば寸時も早く出立せよ、今拙者が餞別を遣はす』と新十郎先生立上つて自分の居間へ入り取出しました二字國俊の一刀再び長一郎の部屋へ來つて 新『之れは尼子家に傳はりし二字國俊の一刀、父龜非永綱拜領したる龜非家の寶物であるが其方の孝心を愛で、餞別に遣はす、之れにて小太郎を刺せ若し仕損じたる其時には之れを以て自殺なし繩目の恥を受けるな、宜いか 長『心得ましてございます』。

京城明治町一丁目
入院 隨意
胃腸病院
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

日曆

八月三日 九星　土曜　舊六月廿七日 壬午　本命三碧東閉友引

▲二碧　引手模主義の事有日新事見合の方は吉　暗剣東▲四綠　熱心ならば込み轉居入學等の件は吉、婚姻、造船等の事控目が吉▲五黃　自分天狗の事有日新事手控ふべし▲六白　高事は吉女難損財を防ぐべし▲七赤　子は行落を守るべし▲八白　貸附物投資は宜しからず、手控新事は其他事は吉女▲九紫　緊張し手控新事工は如なし、轉居開業入門手控▲一白　媒介の事運ぶべし▲三碧　...

（雜誌抄）

◎魚の欠伸（水產界）　英國の生物學者リチャード、エルムヒルストといふ人は、多年研究の結果、猫、比良魚、其他多くの魚類が、人類同樣に欠伸をする事を發見した、其生理的の起因は、酸素の缺乏と、不潔の空氣にであると頭に血が溜る爲めに起るので、欠伸後は人間同樣精神爽快になるらしい

○夏の婦人畫報　わが中流婦人界に非常な歡迎を受けつゝある東京京橋東京社發行の『婦人畫報』八月號には綺麗なる二頁大美人繪を附錄とし鮮明を極めたる御寫眞數葉を始め奉り以下數十葉いづれも凉味掬すべく讀み物には暑中に暇の利用法子供の避暑法等を始め有益池田芳氏の長篇小說『須磨』外數十項を收むと例に依り好評湧くが如く定價參拾五錢京市內各書店にあり

◎廣州より

京畿道廣州郡廳所在地は昨年末郡廳移轉以來內地人戶數十一餘人戶數三十を增加せると共に一萬五千圓を投じ小學校新築中にて本年中には竣成の豫定なりと尙ほ之と同時に市區改正をなすべく官民共同して目下滿場敷設中なるが同地駐在所を擴張し又豫て噂中の同地駐在所の移轉說は各家毎に必ず軒燈をなすべき事に略內定し居るもの、如し（通信員）

〇いろは順に出ますから切つて溜めて下さい〇

いろはカード　金言

消化と毒けし

仁丹

三輪 井上 兩博士御方劑

本舖 森下博藥房

れ　禮儀は出世の尾鰭なり（俚諺）

そ　組織的敏活は成功の要素（ボールドウイン）

大阪化學工業博覽會にて於て

金賞牌受領

テーシー印

花屋のポートワイン

葡萄酒召すならホンモノを!!

關 遣 元 帝國シャンパン株式會社
資本金 貳百萬圓
生產高 年額拾萬餘石
直營農園 百五拾町步
社長 男爵 武井守正氏
技師長 エッチ、フック氏

到る處の信用ある和洋酒食料品店にあり

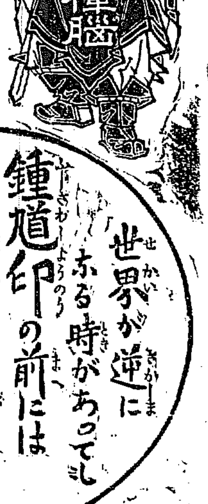
名實共に日本一として

評判の高い本品は衞葡酒界の記錄を破つて實質上の名譽金賞牌を得ました虎出し早々から斯かる光榮に浴し賓行の日毎に激增するは全く異例です夫れも其筈本品は國産御奬勵の御聖旨に基づき國產の原料を用ひ最新式の完備せる工場に於て佛國の技師が醸造した日本でタツタ一つのホンモノの葡萄酒であるからです

發賣元　大阪東區備後町　花屋商會　電話本局八六二

家庭必備の

防虫料（むしよけ）



商標　藤澤樟腦　賞錄

世界が逆さまにある時があつても鍾馗印の前には衣類食ふ虫が一歩も近づく事が出來ません

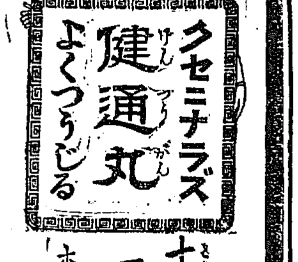
定價
小形金五錢
中形金十錢
大形金十五錢
碁石形金二十錢

各地藥店にあり

寫眞
京日寫眞製版部
寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 迅速と懇切を旨とし熟練せる技術を以て最も廉價に御需に應じ候

模範牛乳
宮內省御用
ニュウソ
石鹸洗粉

東京城蓬萊町四丁目　電話五二番
東亞牧場
場主 肥塚正太



クセミナラズ
健通丸（けんつうがん）
よくつうじる

十日の便秘も一服で通じる其快さ!

本舖 大阪 合資會社 參天堂

京城日報 第五版

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月貳圓貳拾錢 ▲六ヶ月四圓[illegible] ▲壹ヶ年[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行[illegible] 別號[illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話[illegible] 振替[illegible]

[illegible]なし又[illegible]方面は[illegible]の不足[illegible]他方面の新販路の開拓及び活躍に於ては[illegible]紙上の[illegible]たるに止[illegible]より大いに緩和せられ殊に[illegible]の制限は[illegible]つゝ[illegible]る迄[illegible]至る迄累計に於ては[illegible]百四十二萬[illegible]四千有餘圓に達し之を昨年同期の[illegible]六十五萬九千餘圓に對比すれば[illegible]一驚を喫す可し又其[illegible]以外に於て[illegible]じて目下盛んに出漁中なる本邦の[illegible]歸航の際持歸る時には其生産高[illegible]相應に達す可しと豫想さる次第[illegible]

獨逸と航空術

航空術を得んとして努力

▲飛行機は今次の大戰に於て最も著しく進步したる新武器の一つであつて歐洲諸交戰國の航空術は日に月に著るしき發達を遂げ殆んご毎月新型の飛行機が現れないことはないと言つても過言で無い有樣であるが最近佛國の或雜誌に敵方たる獨逸の航空術の發達に就いて次の樣な記事があつた

▲一九一三年以來獨逸は戰時並に平時の航空に適應したるものとして複葉胴體付複座にして前部に一箇の發動機を備へた型の飛行機を採用した之が『アルバトロス』型で開戰當初から今日に至る迄改良を加へられて使用せられ交戰各國も現在此型を採用して居るのである獨逸でも開戰當初には此型以外に『タウベ』型等の單葉飛行機も用ひて居つたが間も無く廢止されて了つた

▲思ふに獨逸飛行機の技術的特徴は其大體の性質を甚だしく變更しないで不斷の改良を加へて行く方針であるから其進步の効率が著るしい點である今獨逸軍隊共同作戰飛行機の技術上の改良點を見るに一九一四年に於て速力一時間平均八〇基米突であつたものが一九一七年になつて同型飛行機の速度毎時一七〇基米突となり一九一四年の飛揚高度が一五〇〇乃至二〇〇〇米突であつたのが五〇〇〇乃至六〇〇〇米突に達し其上四十分で約二〇〇〇米突であつた昇騰速度が卅五分で五〇〇〇米突となり搭載重量も二百キログラムから六百キログラムになつた而も此飛機は開戰當初と同型にて且面積も殆んど同樣な飛行機に於て進步した効果である

▲最近獨逸飛行機製作者が一般に行つてゐる改良の一點は胴體の製造に張り合せ板を用ふることである此方法に據ると胴體の支柱、鋼線、轆轤、縱通材の數を減少することが出來るので之が爲め獨逸は殊に極めて輕く且つ堅牢にして速力も疾く經濟的な飛行機を造つてゐる此張り合せ板を以て製作する方法は必ずしも新發明ではない既に一九一三年プレグオストが操縱した小單葉『デペルヂュッサン』(速力一時間二〇五基米突)は實に張り合せ板を以て造つた胴體であつた。

▲開戰當初に於いて獨逸の翼面四〇平方米突一五〇馬力の萬能式獨逸飛行機は追擊專門の翼面一八平方米突九〇馬力單葉の佛國小『ニユーボール』に對して全然無力であつてアラスの攻擊中其制空權は殆んど佛國の掌中にあつたので獨逸は翼面小さく速力並に操縱の點に於いて『ニユーボール』に對抗し得可き新驅逐用飛行機を製造したそれ即ち單葉『フオッカー』で翼面一六平方米突一〇〇馬力廻轉式發動機一個を備付けた、後此型が進步して『フオッカー』複葉其の他『アルバトロス』複葉(翼面二〇平方米突馬力一七五機砲二)の如き驅逐用飛行機が製作せられた

▲ツェッペリン飛行船は當初獨逸が非常に賴りに思つて居つたのであるが徒らに尨大で莫大な資本を要するに拘らず其の効果少く失敗に終つた而して一九一五年以來佛國の爆彈攻擊飛行隊の遠征は愈々頻繁となり獨逸の産業地を惱ましたので獨逸は切りに之に報ひんとしたが其の共同作戰用飛行機は僅に六〇キログラムの爆彈を搭載するに過ぎざるのみならず揮發油も三時間分を有するのみで遠征に不適當であつたので種々腐心研究の結果獨逸陸軍航空局は胴體付支持面大なる發動機二個を有する大複葉飛行機を製作した其の最新型は一九一七年式『ゴータ』型で座席三面積九五平方米突發動機二馬力五四〇機關砲二門爆彈搭載量五〇〇乃至六〇〇キログラムと言ふ威力を有し前燈裝置迄完備してゐるが該機は爆彈六〇〇キログラムを積めば約三時間三〇〇キログラムを積めば五乃至六時間(倫敦迄)飛行することを得るもので倫敦方面に於いて五〇〇基米突の遠征を行ひ九日間に七回の攻擊に成功した外ダンケルク、ナンシー、カレー等に攻擊を行ひつゝあるもので獨逸の誇りとして居るものであるが更に最近の獨逸新聞は四發動機を有する巨大な超『ゴータ』飛行機を造ると云ふ報道をして居つた

鳩郵便利用

矢野監理課長談

現時の歐洲大戰は實に人智の限りを盡したるものと云ふべく其の通信方法の如き電話電信傳令使は勿論或は飛行機を使用し或は軍犬をして各種の報告書を運搬せしむる等其の方法の

▲新舊を問はず 必要とすることは傳書鳩をも使用することなるが重瓦斯砲火等の集中せる際には通信上傳令鳩を利用すること最も有効なりとのことなり抑も傳書鳩(或者は傳信鳩と稱ふ)は羅馬時代に於て既に通信用として使用せられたるものなるが之れを組織的に且つ大規模に使用せるは十二世紀の頃にして埃及のネルチン王時代に始まりたるもの也而して約六百年の間埃及及びシリア地方のマホメット教徒に於て傳書鳩を大に利用せりとのことなり近世に於ては普佛戰爭中佛國に於て盛んに傳書鳩を利用せるのみならず

▲南阿戰爭の際 にも英軍に於て之れを使用したりされど歐洲大陸諸國にては軍用として傳書鳩の使用方法を講究したるものにて現時の戰爭には敵味方とも鳩を利用し居れりと云ふ鳩郵便なるものは千八百七十年の普佛戰爭當時に於て頗る成功したるものにして一羽の鳩の運搬せる信書は當初薄き紙片に認められたるものありしも後には通信文を海豹皮の紙に寫眞となし文字を顯微鏡にて見得る樣になしたるものを羽毛の傍に巻く包みて之れを鳩の尾の根本に糊を附したる絹絲を以て堅く結び付けたるものにして薄き紙に複寫したる寫眞の通信文たるや横一吋縱二吋の紙面十六枚の紙上に約

▲二千の信書を 記入し得たりとのことなり一羽の鳩の携帶する重量は一グラム以下のものに過ぎざる輕微のものなり千八百七十年末に於いて佛國にては鳩郵便を公衆にも利用せしめたりしが其料金頗る不廉にして一通の信書は二十語以內なるを要し一語金二十錢の割合なり又鳩郵便は開封の儘差出し且つ料金前納にあらざれば之れが引受けをなさず而して軍事上の事項を記載せる私信は之れを許さざるものなりき此鳩郵便は比較的正確なりしを以て盛んに公衆に利用せられ後には一語金八錢に低減せられたりと云ふ鳩の速力たるや其種類の如何又天候の狀況及び其距離の長短と

▲鳩の年齡等に 依り差異あるものなるが白耳義鳩は天候良好なるときに於いて一時間三十七里を飛行し得べきことなりこのとなるも普通は一時間十二里乃至十五里內外の速力を有するに過ぎず又鳩に依る通信距離たるや一年鳥は約百哩二年鳥以上は約二百哩の距離を普通とせるも短距離に利用せらるゝ場合甚だ多し或傳書鳩は一千四十哩を飛行せしことありとの傳說あるも之等は例外に屬するもの也又四百哩乃至九百哩以內の距離に於ける飛行は成功し得ざるにあらざるも距離長ければ長き程鷹隼其他の害を受くること多く或は行方不明となるの恐れも少からざるものなり又天候不良なるときも行方不明となるか或は通信時間の甚だしく

▲遲延する場合 の多きことは勿論とす普佛戰爭中には獨軍側にては佛國の鳩郵便を妨害せんが爲め鷹を使用したりしが之が爲通信の障害甚だ多かりしものなりしと云ふ本陸と孤島との間の通信は無線電信又は飛行機等に依るを便とするも經費其他の關係上鳩郵便を開始するを利便とする場合多かるべし現にニユージーランドのオークランドとグレート、バーリシア島との間の郵便遞送は傳書鳩を利用し居れるが此兩地間は六十哩あり一羽の鳩にて布片四枚を運搬し得べく其の料金は一枚に付金二十四錢なりと云ふ之亦利便なる方法と云ふべし要するに傳書鳩は戰時は勿論平時と雖も場所に依ては頗る利便なる場合多しと云ふべし

書道の話(九)

今關天彭氏談

蘇軾

蘇軾書、如丙吉問牛、能持大體

蘇軾は即ち東坡であつて、詩文の大才であるのは勿論、書もまた宋代に於て第一位を占めてをります、その書風は顏眞卿に近いと云ふ評判で、元、明、淸にかけて、非常な流行を來しました。その筆蹟としては行書の醉翁亭記などが名高いものであります。

蔡襄

蔡襄書、如少年女子、獨往、飾繁

この人は唐風を守りて、最も虞世南の堂奥に入ると評せられ、また或る人は宋代に於ける顏眞卿の位置であるとも申て居ります。この短評は唐風を固守するのを譏るのであります。

黃庭堅

黃庭堅書、如梁武帝、輕心儉、利益、

黃庭堅は即ち山谷であります。その書風は柳公權に似た點があり、最も風韻を重んじて、六朝時代の陶宏景の筆蹟と云ひ傳へられる瘞鶴銘から得たところが多いとの事であります。

米芾

米芾書、如張湯執法、比用重輕、

米元章、米海岳、米南宮とは、みなこの人の事であります。この人は四十以前までは刻苦して古人の書風を研究し、ためにその書いたものは古い字を集めたやうなものだと云ふ評判がありましたが、四十以後に至つて諸家の書風を融和混合して縱横に變化させ、そして自ら一家を成し、大層名高い人となりました。だがその書風は、褚遂良に似て居ると云ふ事であります。

要するに宋代の書界は蘇東坡、米元章二人の舞臺であります。さて元となる。元には有名なる趙孟頫が現はれました。

趙孟頫

趙孟頫書、如挾瑟燕姬、矜新妝、

趙子昂は蘇東坡以後の第一人で、その影響は今日に於ても尙受けつゝあるのであります。この人の書風は、簡札は羲之、碑版は李邕で、いかにも美しい。しかし餘り熟し過ぎて居るとの評判がある。この短評はそれを云つたのです。だが結構な筆蹟となると、實に見事なものがあります。元では趙子昂の外に鮮于樞、虞道園、康里子山なぞもカナリ名高い人々であります。明となる。明の書風は大抵子昂の影響を受けて、美しいのが多く、剛健なのが少い。その特調は行書と楷書の工みな點に在りますが、草書もまた名高いものがないではありません。そして行楷が子昂の流派であると同じく、草書はみな張旭や懷素の流派であります。

祝允明

祝允明書、如戎人吁布、不知廊廟

祝允明は即ち祝枝山で、枝山とは、右の手に指が六本あるからださうです。その書は狂草が最も巧であります。

文徵明

文徵明書、如風舞瓊花、泉鳴竹澗

この人は主として子昂を學び、そして宋の書風を加味し、その上晉唐にも及んだのであります。この人はまた畫家として名高い。明末に近くに及んで所謂四家が出た。それは邢侗、張瑞圖、董其昌、米萬鍾の四人であります。また王鐸も出ました。

並行線(四十四)

瀧閑村

電燈が點いて夜になる、少しあつた風がぱつたり歇んで暑くなつた。

宣太郎はおのぶ迄が口を出すのを好まなかつたので、

『お前は氷でもさう云つて來ないか。』と命じて座を外させようとすると、久吾は手を振つて

『イヤイヤ氷は入らん、俺はあゝ云ふものは飮まん、あれは贅澤なものだ、飮むと跡が却つて暑くなつて損だ。』と斷つて。

『ごうするつもりかナ。』と話を先の所へ持つて行く。

『此地で一つ仕事をしたいと思つてゐます、實は……』

計畫中の事は久吾などには語りたくないが、仕方無ささうに、

『實は今計畫してゐるのです、それは驛下に近い邊で外の工業に使つてゐる、棄てるやうな植物の纖維で製紙をしようと思つて、色々調べてゐるのです、藁などの外にはまだまだ紙にする事の出來る纖維は澤山ありますから、成るべく安くて、成るべく原料の豐富なものでやらうと思つてゐるのです。』

久吾は少し嘲るやうな調子で、

『さう云ふものがあれば結構だが儲かるものなら、モウ疾つくに外の人が手を着けてゐるだらう。』

『まだそれ以外に何かあらうと思ひます。』

『少しは當りが付いてゐるのかナ。』

『いやそこ迄はまだ進んでゐません。』

『それぢや夢を見たやうな話ぢやないか、さう云ふものが見付からなければごうなさる?』

『乾度見付けるつもりです。まだ何かあるに相違ありませんから、さうなつたら……何か發見して事業の見込が付いたら、ごうか援助して下さい。』

久吾は眉を顰めて、

『儲かる見込さへ付けば又御相談にも乘らうけれご、今の處ぢや少しも當てにならないぢや無いか、そんな事を目的にして、ブラブラ遊んでゐるのぢや、失禮だが喰ふにも困らうがナ。』

『貴郎ごうかしてモウ一度朝鮮の方へ入らつしやる相談は出來ないのですか。』

『そんな事もありますまい。』

『出來ない。』と宣太郎は忌ま忌ましさに思はず聲を荒くした。久吾は少し氣色ばんで、

『朝鮮へ行かんと云ふ事は、俺は光一さんからは聞かなかつた、何だか皆で俺を欺したやうなものだ。』

宣太郎は乾となつて、

『欺したなごと仰有られては甚だ困ります、行かない事には其後定めたのだから……何にしても、他に助力なごを仰がないで、乾度何か發見して見ますから御安心下さい。』

久吾の莞爾り恐れるのは此助力であつたので、

『それ迄に云はれるなら、俺もお手並を拜見しよう、いや男は獨力獨步でなくては駄目だ、慾ひ助ける者などのあるのは却つてよく無いから、俺はお助けをせんで、折角獨りでやつて貰ひたいものだ。』

と云つて久吾は變な笑を口端に現はした。

宣太郎も不快さうに口を噤んだ

◀祝觀火大會之成功▶

★サッポロビール

絶へず流るゝ水は常に淸澄なり

多く賣行くビールは常に新鮮なり

大日本麥酒株式會社京城出張所

購買入札

大豆五百石 西大門監獄納
右購買ス詳細ハ大正七年八月一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

購買入札

籾藁壹千百二十五貫 開城納
右購買ス詳細ハ大正七年八月一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

祝觀火大會

龍山漢江通(電話三一二) 石見堂 菓子舗
龍山漢江通(電話三一三) 灘屋酒店
龍山漢江通(電話四〇五番) 香椎雜貨店
龍山漢江(電話二〇七番) 寶榮商會
龍山漢江通(電話四三九番) 廣島屋號支店

祝觀火大會

龍山金物商組合

祝觀火大會

Ⓖ 葉煙草輸出入貿易商

上海 伊藤商行 京城支店

長電話七一七番

本店 上海黃浦路三十一號
支店及出張所 漢口、九江、廣東、香港、臺北、東京、大阪

祝觀火大會

京城明治町 京城魚市場

電話一四七八番

◎大阪造船所新株 提供

勿驚今後五期間五割配當確保の有利株

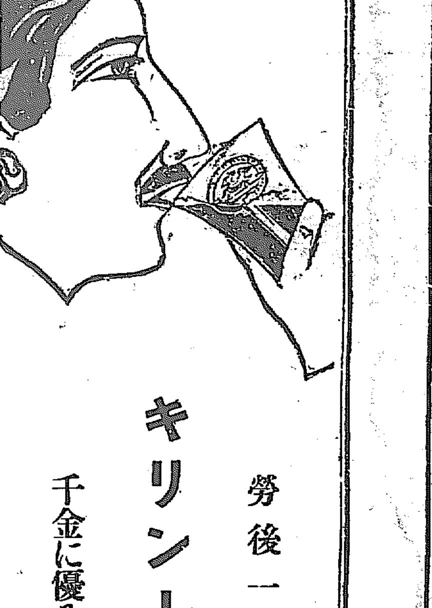
大阪造船所新株の公募成績は約五倍の申込みにして最高[illegible]五拾錢最低拾七圓にて募入され以下は募入外れとなれり同株の前途好望は絮說する迄もなし募入外れとなりたる方及びプレミアム見當附かず形勢を見逸られし方の便宜を圖り同株提供仕候間左記要項御熟覽の上取急ぎ御申込相成度候但し準備株少數に付先着順に依り取極め申可候

提供要項

提供價格 壹株ニ付參拾五圓也(第一回拂込金を含む)
申込株數單位 拾株以上
分讓證約金 壹株ニ付 金拾圓
送達方法 八月十五日第一回拂込終了次第證約金殘金引替荷爲替にて送達す

京城府櫻井町一丁目百三十六番地
公債株式現物賣買 新田研市商店
電話長五七〇番 一八八一

祝成功



勞後一杯のキリンビールは千金に優る美味

發賣元 明治屋京城支店

◇土獨外交斷絶

君士坦丁堡よりの報道に據れば土耳古は獨逸が軍艦ブレスラウを喪失せる賠償として土耳古巡洋艦ハミデーを捕獲せる結果獨土兩國間の外交關係を斷絶せりと(合同通信電報)

◇國際食糧會議

聯合各國食糧監督官等は國際食糧會議を倫敦に開會することに決したり(合同通信電報)

◇英國新政黨宣言

英國にはラデイカル、カウンシルと稱する政黨新に出現し(一)國際平和の維持(二)戰後政策として資本に對する課税(三)超過利得税の維持(四)自由貿易(五)賃銀最低率の設定(六)保育教育より大學教育の無料制度(七)養老年金の制増及び年齢低下(八)徴兵制度廢止(九)一切の稱號廢止等を宣言せり(倫敦電報)

◇墺內閣瓦解の勢

墺國新首相フレサツクは議會に於て多數を得る事困難なる模様にて瓦解すべき形勢なり(倫敦電報)

◇聯合軍依然攻勢

米佛兩軍陣地奪還さる

獨軍はソアソン、ランス間五十哩の戰線に於て激烈なる逆襲を試み聯合軍は依然攻勢を持續しつゝあり佛米軍はシエルジを奪取され佛軍はベニユーを奪還されたり(合同通信電報)

◇我義勇兵死傷

セミヨノフ軍敗北に際し我が義勇兵の戰死せる者二十七名負傷者十二名行方不明七名あり(哈爾賓電報)

◇チ軍巡洋艦拿捕

チ軍は黑海に到着しノヴオロスト ク港に於いて二隻の巡洋艦を拿捕せり(合同通信電報)

◇セ軍前面の敵

獨墺俘虜を併せて優勢

セ軍前面の過激派軍は露瓦斯を有し強烈なる戰鬪力を以てセ軍を惱まし居れり此の方面の敵は哥薩克、獨墺俘虜を以て騎兵部隊を編成し優良の馬匹を有せりセ軍前面の過軍、獨墺俘虜は八千、ウエルフネウヂンスクには千五百外に武裝せざる俘虜一萬六千あり(哈爾賓電報)

◇烏拉爾新政府組織說

烏拉爾地方に於てロツヂヤンコ氏を首腦とする新政府組織せられたりとの說あり(哈爾賓電報)

◇哈市ホ政府承認

哈爾賓市會はホルワツト政府承認を決議せり(哈爾賓電報)

◇俘虜侵入

獨墺俘虜續々海拉爾に入り込みつゝありとの說あり(哈爾賓電報)

◇電信不通

トムスク、イルクツク間電線破壞せられイルクツク以西の電報不通となれり(哈爾賓電報)

◇總統問題

張作霖、徐樹錚、田仲玉、陳錦の諸氏は二十八日午後天津にて會議し總統問題を協議せり(北京電報)

◎墺國食糧缺乏 國內危險迫る ▲麵麭の定量を減じたる [illegible] して六百三十瓦となす [illegible] の原料は依然として缺乏 [illegible] 如き窮境に陷りたるものなりと [illegible]

◎江原水道知事 [illegible]

午前八時半閣會法相外全部出席後十時外相より○○問題に對する米國交涉顛末報告あり之に對する帝國政府今後の態度に關し協議するところあり外相は閣議半にして參內外交上の重要案件を闕下に伏奏し再び閣議に列席協議を續け午後二時十分散會せるが更に散會後首相、外相、陸相、遞相は居殘りて同二時四十分迄協議する處ありたり(東京發電延著)

◇臨時外交調査會

閣議結果報告

臨時閣議後一日午後三時より首相官邸に於て臨時外交調査會を開き○○よりの回答、並に之れに對する閣議の決定を報告し種々協議散會せり(東京特電)

◇重要事項審議

一日午前九時より首相官邸にて臨時重要閣議開會首相以下各大臣參集重要事項を審議せり(東京特電)

◇陸相外二相 重要伏奏

臨時外交調査委員會は一日午前十一時閉會したるが會議半にして大島陸相、後藤外相、水野內相は參內の上刻下の重要問題に就き伏奏する處ありたり(東京特電)

◇兩院豫算送附

貴衆兩院の來年度豫算は編成を終り大藏省へ送附したり(東京特電)

◇獨立商科大學

商科大學を帝國大學法科より獨立す可く文部省來年度豫算に計上せり(東京特電)

◇日置公使兼務

特命全權公使日置益氏は瑞典駐劄並に諾威、丁抹兼務仰付けられたり(東京特電)

◇辻男爵薨去

男爵辻健介氏は三十一日朝病氣にて薨去せり享年六十歲(東京特電)

◇前場取引中止

米穀取引所は市場相場高低不穩の虞ある爲前場一節迄取引を中止せり、卅一日午後三時東京發電延著)

◇東京正米暴騰

東京市場期米暴騰と共に正米も一圓高となり延いて小賣値も昂騰し一等米一升四十五錢五厘二等米四十三錢五厘となれり(東京特電)

◇全國取引所 立會停止

期米暴騰し全國取引所の主要なるものは殆んど立會を停止し閉鎖の如き有樣となれり殊に大阪堂島の如きは自發的整理の能力無き爲遂に無期限の取引禁止を命ぜられたり(東京特電)

◇大內代議士來鮮

民黨代議士大內暢三氏は一日朝著釜停車場ホテルに少憩の後午前十時より新聞記者數名と共に海雲臺に遊び同夜急行にて木浦に向ひたるが不日京城に來るべし(釜山電)

◇中井、城兩氏 白頭山植

物調査中の中井博士は三十日、又城覆審法院長は一日滿津へ歸著せり(滿津特電)

◇警務總長任命

一日左の通り辭令あり(東京特電)

陸軍中將 兒島惣次郎

任朝鮮總督府警務總長

◎看守教習所開設に就て

柿原看守教習所長談

從來看守は各監獄に於て試驗の上採用し直に實務に就かしめ別段教習生として定員外の配置なき爲め執務時間外に一二時間位の教習を施すのみにて甚だ不充分なりしより其の筋に於いて定員外の看守教習生を設け之れに相當なる教習を加へたる後實務に就かしむるは獄務の改善上最も急務なりと認め本年度の豫算に定員外教習生に關する經額を計上し新規に看守教習所を西大門監獄に附設し全鮮の監獄に配置する看守の採用を中央に統一し三箇月を一期として教習することゝなれるが右に就き教習所長も部長等に對する訓練の方法も現在の實狀にては完全を期し難きより之れ等に付ても隨時各監より教習所に集めて相當の訓練を與ふることゝなれり是等は與に朝鮮獄務の改善上確かに効果あるべし教習所は西小門內元土地調査局分室を以て充當することゝなり九月十日頃開所の見込にて目下西大門監獄に於いて著々開設準備中なるが這回は先づ內地人の看守教習生を募集し八月下旬採用試驗を施行する豫定なり右志願者は八月十五日頃迄に履歷書を添へて志願書を西小門內看守教習所に提出せば試驗施行の期日等は教習所より夫々通知ある筈なり因に試驗科目は監獄法規刑事法規の大要算術にて教習中の手當は月額三十三圓位也

◎財政獨立計畫成る

税制改正一段落=財源と方針(前承)

而して自然增收のみによりても豫定の年限を俟たず獨立の目的を達成し得るの狀態に到達せるより總督府は義に地税に改正を加へ是れによる歲入の增加を百六十萬圓內外に留めて他日の財源に供すべき餘地を存し置き更に今回

▲煙草消費税 令の選布を斷行し八月一日より之を施行の上製造賣販賣定價に二割五分の消費税を賦課せり之により總督府は本年度內に約八十一萬圓の歲入を得る豫算なり而して總督府當局は今次の賣消費税令施行に關しては前以め當業者と協定し消費税賦課を機會として突飛なる販賣價格の値上をなすは一般需要者の苦痛とする處なりとの理由の下に値上價格と消費税賦課額との差を漸に一厘內外即ち當業者の手數料程度に留めしめ之が代償として他日に於ける第二次値上決行を條件として販賣定價の二割五分の賦課を斷行せるもの、如くなるが總督府

▲當局の眞情 は內地に於ける專賣制度施行以來の成績に徵し酒貴等に對する消費税は如何に高率とし如何に價格を引上ぐるも需要の增加をこそ見れ決して減退するものに非ずとふ見解の下に世上に於る好景氣と諸物價昂騰の絕好機會を捕捉して斷行し以て直接税手控間接税增徵の方針を實行せるもの、如し當局の說明によれば賣消費税令の施行は財政獨立に伴なふ既定計畫に屬する徵税種目に相違なきも特に今回施行するに至りしは大正七年度歲出の增加に鑑み總督府八年度財政の處理上之を行へる迄にして獨立計畫とは全然切離し無關係なりと云ふも最も

▲至難なりと 觀測せられし賣消費税が獨立計畫との關係有無を別問題として何等世論の批判にも上らず平々坦々其實行を見るに至りしは寧ろ財政當局の手腕とも稱すべき乎兎に角是れにて總督府財政獨立の準備は義の地税令改正と相俟つて豫定の如く略完成せるものにして地税の如き猶比較的增徵の餘地あるも總督府は暫く現狀の儘に据置き直接税賦課は可及的之を避くべき方針を支持し主なる税率の改正は今次の消費税改正を以て一段落とし他は自然增收により獨立財政の處理按排を爲す方針なりと(完)

◎横斷航路近況

牛積出續行

朝鮮郵船會社日本海橫斷航路の近況を聞くに敦賀行きは依然として滿洲方面の豆粕群山京城方面の白米等も相當出貨あるが最近の航路には牛の積出し相踵ぎ數日前出帆の平壤丸は百五十頭を積載せし由而して內地の牛價は不足のため益々騰貴に傾きつゝあり同様の牛にて北鮮地方と內地とを比せば一頭に付約五六十圓の開きあり從つて朝鮮郵船の運賃たる北鮮敦賀間牛一頭十圓並に諸掛り費五圓を要するとするも尙ほ無事に牛の到著を見ば貿易業者の收利は勘からざるに付當分積出しは續くべしとの事なるも北鮮產牛の關係より現在の如く一箇月二三百頭の積出しを續行せば同地方の牛は不足を來し自然價格の騰貴を見るは免れざるべしと又復航は百乃至百五十頓の積荷に過ぎず殊に昨今は海運界夏枯期に入りしを以て船腹の餘剩多きが九月頃に入り綿布の需要を喚ぶに至らば阪神名方面より北鮮に仕向くるものの增加は他と共に目立ち來るべしと

▲組合汽船廢航 三月以來北鮮と敦賀間に橫斷航路を開き朝鮮郵船と競爭しつゝありし神戶組合汽船會社は缺損相繼ぐを以て六月以來廢航し居れりと

◎海運界閑散

內地と朝鮮とを問はず沿海航路は昨今荷不振の絕頂にて極めて閑散の狀にあり唯社外船の來航少き關係上商船も尼ヶ崎も朝鮮郵船も運賃引下をなすまでには至らざるも最近幾分軟調に傾き居れり唯仁賃は若干跳上り幾分繁忙となりしも月中旬以降大阪小西某の買收鮮米十數萬石の輸送を急ぎし關係上、實行中の該輸送にして一段落を告ぐるに至らば、又復閑散に陷るべしと

◎農事獎勵會事業

地税は小作人に嫁せず

京畿道農事獎勵會大正七年度事業計畫狀況を聞くに其の補助事業として同會は主として各地に於ける支會をして活動せしめん事を期し前年度の如き高陽及び加平兩郡支會を除くの外各支會に補助したる爲め本年度に於ては支會に於ても相當經費を得るの途を開きたるものあり本年度は更に一支會平均二十圓の見込を以て十支會に補助し會員其他の特別事業にして獎勵上必要と認むる者に補助せん計畫を立てたるが其の會報の如きも從來豫定の發行出來ざりしもの本年は有給の事務員を置き必要と認むる事項を調査し出來得る限り之を會員及び支會等に頒つべく尙熱心なる支會々員四十名を選抜し一週間の豫定を以て可成京畿道種苗場に囑託し農事講習會を開催し一般農事の獎勵開發に資する等其の主なるものなり尙ほ本會第八回總會に於ける申合事項の主なるもの左の如し

▲地税は小作人へ轉嫁せざる事 地税が地主の負擔に屬するは地税令の定むる處なるも本年度より地税の税額增加せらるゝの謂ひを以て萬一其の增額の一部若くは全部を小作人に轉嫁せんとするものあるに於ては道德に悖るのみならず小作人は穀價騰貴の昨今食糧の不足分を他より購入若くは借入して漸く生活を持續する情況にあり如斯者に對し地税を轉嫁する如きは德義上は勿論地税令の趣旨に副はざるのみならず延ては本會地主にありては土地の荒廢を來すことなるを以て本會地主にありては地税增額の負擔を小作人に轉嫁せざることを申合さむとす

▲支會の會費負擔に關する件 各郡に於ける支會區域內に於て多くの土地を有する地主又は支會の會費を其の管理人より支出することに決しある向はらず其支出を拒むものある爲め支會の活動意の如くならざるものあり然るに農事獎勵會の目的を達するは支會の盛衰如何にあるを以て本會地主は進で其支出を爲すべく申合はさるも支會の會費負擔上疑義を生じたる場合は直ちに本會と打合すこと

◎鐺問題未決著

京城支店の債務未拂問題は尙ほ解決せられず京城債權團の意見は明白なるが這回の京城債權團の熊度並に大阪債權團の意見の不一致あり結局京城債權團を代表し須藤京末太郎氏は數日前大阪に向へりと

◎立花中將發期

立花第四師團長の出發期は八日朝と報ぜしも右は誤りにて八日午後七時五十分南大門驛發列車にて古海第十七師團長と同行出發する由なり

◎ミラー氏出發

新任米國總領事前京城駐在米國總領事ミラー氏は一日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發せるが停車場には山縣政務總監、久水外事課長各國領事團及び夫人等多數見送りありたり

◎三島理事轉地

三島鮮銀理事は客月來風邪のため引籠り勝ちなるが近く容態輕快ならば姑く內地に轉地する事となるべしと

◎久保理事向連期

社務打合せのため大連に出張すべき久保滿鐵京城管理局長は近く外金剛の觀察に向ふ由なるが大連に出發するは十日頃となるべし

人事消息

▲永野清氏(京畿道警務部警視) 往復十六日の豫定にて江原忠清南北道へ出張

▲阿部而止氏 家族 二日午前八時四十分出發の筈

▲木村林次郎氏(三菱理事) 一日夜退京

▲加藤耕作氏(大阪共榮銀行取締) 同上

▲小林德一郎氏 ▲山縣光雄氏(福岡鑛業家) 同上

▲齋藤作五郎氏(大阪實業家) 同上

▲多田忠七氏(成興多田洋行主) 同上

▲南馬之助氏(安東鈴木商會出張所長) 同上

▲浦川敬之助氏(主計少監) 同上

▲小宮令之助氏(熊本辯護士) 同上

▲伊吹晉氏(朝鮮製鐵重役) 同上

鳥瞰雜俎

◎大總統選擧政戰は依然混沌として未だ其の何人が當選するか不明

◎政界に最大多數を有する安福俱樂部も遂に三派に分裂せしが如し

◎之れ畢竟例の梁士詒、錢一派が徐世昌推戴にて多數議員を拉致し

◎愈々となれば段總理を總統に推さんとする策謀が現はしに依るが爲め

◎此際殆ど快心の笑を漏すは馮總統一派也勿論南方亦愉快を叫ばん

◎奉天作霖督軍珍らしく軍容堂々晉京秘策果て如何燕京政界を追て知る

◎宇市の俘虜過激派其本營を滿洲里に進め先鋒の部隊既に滿洲里に入

◎堀輪土政府は恐き陶少將政府に命令を迫る實力無して防止は駄目

◎說をなす者あり過激派軍の國境侵入は食糧缺乏の爲と然ば盗也

◎強盗と雖も無視す可からず何も國境侵入以上は日支協約を實現せよ

◎神戶大阪は成金跋扈の本家也彼等が何事に付け大袈裟は世人驚く

◎過般中元の贈物として自動車を贈れる者多しと奇拔も贅澤の極也

◎斯て彼等の跋扈は底止する處を知らず而て社會は彼等を憎惡す噫

◎菓子屋の前を通りて食慾を刺戟し酒屋の前を經て咽喉の鳴るは人情

◎下に居て高を欲するは萬人の常徒に華奢を盡して天下を蔑殺す

◎迷ふ者の罪か迷はす者の罪か社會は斯て多くの罪人を齎む戒む可し

◎九州の天地を震駭せしめたる瀆職事件最後の豫審も決定されたり

◎收賄は最初呉服より貴金屬に次に有價證券より遂に最後は現金に至る

◎洵に能く收賄の順序を示したる者而て其能く人間の心裡を語る

株式會社百三十銀行 第四十期營業報告

貸借對照表

資產	金額
拂込未濟資本金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸貸出金	五七、五〇六、六〇八・二一〇
他店へ貸(二、二五三ヶ所)	四、三五七、五二七・六六〇
仕拂承諾見返	八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
預ケ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
營業用土地建物什器	一、六二二、九四二・〇〇〇
所有動產不動產	八四六、三七五・〇〇〇
雜勘定	五六六、五五五・〇〇〇
現金在高	八八、五〇四・八九〇
合計	八四、九八一、六六六・三八二

負債	金額
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸預リ金	六四、九四〇、二八六・一八二
仕拂送金爲替手形	二、二八〇、六二一・五〇〇
他店ヨリ借(一六五ヶ所)	六、三四〇、一二八〇・〇三〇
仕拂承諾	一、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
未拂配當金	九二〇、〇〇七・一六〇
未拂利息及經過割引料	五六五、四六八・二三八
當期純益金	四九七、八六二・三八二
合計	八四、九八一、六六六・三八二

利益金勘定

金四十二萬六千九百三十八圓八錢	當期純益金
金七萬八百七十四圓十五錢	前期繰越金
計金四十九萬七千八百十二圓二十三錢	

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

金五萬円	法定準備金
金五萬圓	配當準備積立金
金一萬五千圓	役員賞與金及交際費
金三十萬八千八百三十圓	配當金(年九分)
金七萬三千九百八十二圓二十三錢	後期繰越金

大正七年七月

株式會社百三十銀行

役職	氏名
取締役頭取	安田善三郎
取締役副頭取	小川爲次郎
取締役	小西又助
取締役	森本清兵衛
取締役	右近和作
取締役	內藤爲三郎
營業部長	森 脇茂
監査役	河村清七
監査役	渡邊至
監査役	薮田岩松
監督	安田善次郎

取締役安田善三郎小川爲次郎右近和作內藤爲三郎森本清兵衛監査役河村清七渡邊至任期滿了ニ付改選ノ結果何レモ重任ス / 取締役 [illegible] 辭任 / 監査役 [illegible]

祝觀火大會

藥種商雜貨部 椋橋商店 龍山榮町電話三一六番

中央亭 龍山元町二丁目電話四五二番

新古衣服商 金子奥市商店 龍山元町二丁目電話一〇五

こまや 植西吳服店 龍山元町一丁目電話四二八

東屋洋品店 龍山元町二丁目電話一三三

セメント・鹽販賣 龍山製鹽所 龍山元町四丁目電話四〇七

うなぎ 宇田商店 龍山元町四丁目電話二一五

中村運送店 龍山元町四丁目電話二四八

運送業 エツチ商會 龍山元町四丁目電話二一〇

食料雜貨商 京藤商店 龍山元町四丁目電話四六四

撫順炭

其層百三十尺以上百九十尺に亘り全層を通じて同様の性質を有せる石炭なり
其色漆黑にして光輝強く炭質硬堅なる石炭なり
揮發分に富み尤も燃付よき有煙石炭なり
灰分極めて少量にして『クリンカー』を生ずることなく燃燒十分なる石炭也、硫黃分を含有すること少なきが故に汽鑵の鑵板に損傷を及ぼすこと少なき石炭なり

撫順炭は汽鑵燃料用として日本產一等炭に匹敵し特に鐵道機關車及船舶焚料に適す
撫順炭は特徵として揮發分多きを以て瓦斯製造用としては最優等の石炭なり
撫順炭は一般工業用には尤も適當せり
撫順炭は著火力に富み家事用としては尤も便利德用なり

南滿洲鐵道株式會社

鑛業部販賣課京城出張所

京城南大門通五丁目(電話局二七〇番)電信(テコ)

祝觀火大會

龍山京町 同 貯炭場

電話二〇三番

本溪湖炭

最も多くの固定炭素を含み『カーヂーフ』炭に類似せる石炭なり
適當に酸素を供給せば八千『カロリー』の强熱を發する石炭なり
適度の粘結性を有し多くの骸炭分を含める良質の石炭なり

本溪湖炭は『カーヂーフ』炭と同じく船舶焚料殊に遠洋航路に適す
本溪湖炭は鍛冶用に尤も適當し且本炭製出の骸炭は其質堅く發熱力又強く鎔鑛鍛煉用に適當せり
本溪湖炭は尤も火持ち永く一度完全に燃付くときは木炭と等しき丈け保火し得る良炭なり

煙臺炭

半無煙の石炭なり
固定炭素量尤も多く百分中七五七
四平均を有する石炭なり

煙臺炭は家事用に使用するも煤煙の患なく常に室內の清潔を保つ
煙臺炭は煉炭製造に適す
石炭窯其他一般工業用に亦適し殊に煉瓦窯に之を用ゆるときは其品質を優良ならしむるの特點あり

祝觀火大會

石原磯次郎 京城府漢江通六 電話七一六番

祝觀火大會

印刷インキ製造販賣 芹川商店 京城岡崎町五 電話三〇五一

芹川漁具店 仁川海岸町三 電話七五四

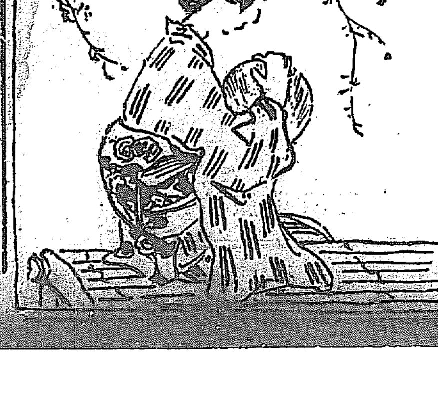
祝觀火大會

京龍材木商組合

麥酒界の花と謳はる 風味芳烈な サクラビールは

都鄙到る處賣行全く飛ぶが如し

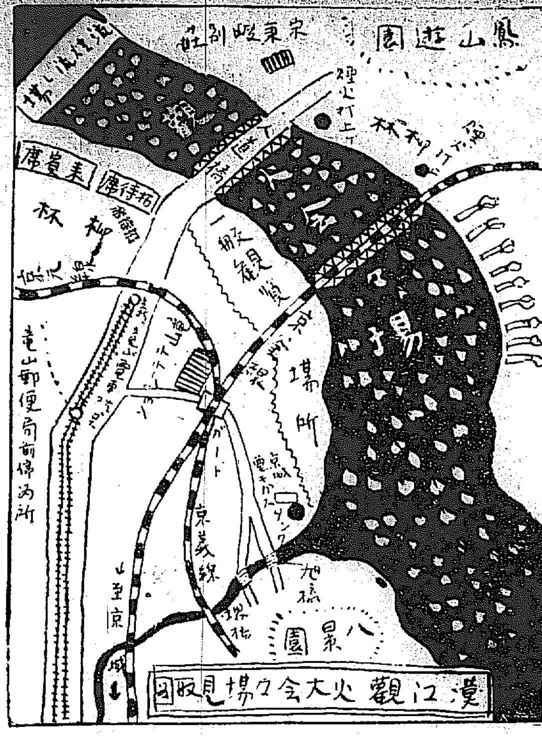
各位の御愛飲をこふ



[illegible]◇一般的平和[illegible]金の値上及び勞働時間の短縮並に輸送を受くること、なりしも[illegible]內に於て訂正す可き

◎漢江觀火大會場見取圖

豫て御案內狀を贈呈しある各位は新龍山人道橋下綠陰の來賓席に御光來普通招待劵の方は新舊龍山左岸に座席の設備あり



◎彩火水天を染むる 今宵觀火會の賑ひ 晩涼風冷なる漢江へ

雨天及び增水のため延期した本社主催漢江觀火大會は愈々二日の午後八時から擧行致します前回にも報じた通り延期に依つて準備は遺憾なく整ひましたから準備係員は

◆開催の日 を手具脛引いて待つて居ります、清涼な漢江の水の面に浮ぶ流燈の輝き、篝火の影空に閃く彩光、なんごの美しさ清々しさは今更說明するまでも無く、讀者諸君が想像されて其の夜の來るの遲きを喚じられて居る事と思ひます、來賓席は說明圖の通り人道橋下でありますから一般觀覽者は人道橋、鷺梁津

◆月波亭 鳳山遊園、漢江神社等にあつて御覽になつたならば從來のやうに窮屈な危險な思ひをしなくとも、當夜の盛觀を恣にする事が出來ます、例年觀火大會と言へば一時に數萬の觀覽者が出掛けますから電車の混雜は言語に絕し從つて婦人小兒なごは危險を感ずるやうな事がありますから晴天で

◆烈風の 吹かない限りは出來得る限り號砲を打揚ぬ前から一時間も早く漢江へ急がれて場所の佳い處をお選びになられた方が得策です、今や京城は三伏の苦熱に見舞はれて夜さへ尿苦しく、市民は散策に依て辛うじて煩熱を避ける有樣でありますが、斯る時斯る清涼な催しを致すと言ふ事は市民に取つて絕好な納涼會となる次第でありますから振つて漢江へお出掛けになられん事を希望致します

◎商船加奈陀丸遭難 タコマ行の途中

無線電信に依つて救助を求めたるに應じ數隻の船舶は加奈陀丸の救助の爲め寄航せり、加奈陀丸は大阪商船會社の所有船にて總噸數六千六十四噸なり同船は七月上旬横濱發シャトル經由八月一日タコマ着の豫定にて生絲外貨重貨物を積載し居れる由(紐育電報)

◎民間飛行家伊國飛行隊參加

駕志民間飛行家中岡辰藏氏並に帝國飛行協會卒業生田中氏は伊國飛行隊に參加することなれり(大阪特電)

◎大阪電車衝突 重輕傷十五名

卅一日朝大阪市電車は天滿宮留所にて衝突し十五名の重輕傷者を出せり(大阪特電延著)

◎松川大將留別の宴 賓客三百◇◇◇朝鮮ホテルに於ける

軍司令官から軍事參議官に榮轉した松川大將の留別宴は一日午後七時より朝鮮ホテルで開かれた定刻前より京龍並に永登浦の

★官民各方面 の代表者は陸續こしてホテルに詰めかけ休憩室、バルコニー、庭園は賓客を以て充ちたデザートコースに入るや松川大將は立つて一場の

★留別挨拶を なし次いで來賓の健康を祝し終つて山縣政務總監は來賓一同を代表し閣下に謝辭を述べ一同ここもに大將の健康を祝して乾盃散宴後主客はホテル後庭に出て歡談に時を移し散會したのは

★十時に近か つたが來會者の主なる向は文官側で山縣政務總監を初め渡邊法院長國分宇佐美松永鈴木小原持地關各長官局長課長武官側で立花師團長市川高橋兩少將

★民間側では 嘉納鮮銀副總裁川上東拓總裁久保滿鐵大田鮮銀各理事高野三井店長松崎朝郵專務各新聞代表者その他主客合計約三百名に上り近來稀な盛宴であつた

◎鑛山成金を夢みる中學生 悲觀的の手紙を殘して朝鮮へ

埼玉縣北埼玉郡水深村上雄之助二男靜夫(一九)同村川邊平次郎の孫盛敏(一七)の兩名は同校の中學生にて元來親密の間柄なるが靜夫が中學

◆卒業し たる際盛敏は四年級にて任意退學し盛敏は本年五月中親戚なる兵庫縣武庫郡西の宮町の醫師小林浩吉方に立越し同家より大阪の青年英語學校に通學中靜夫は盛敏ご互に文通しゐたりしが兩名共哲學にかぶれ悲觀憂鬱症に陷り何れも自殺等の逞ある より家人は密に

▼警戒し ゐたりしが偶々靜夫は七月十九日親父の金八百九圓を拐帶し無斷家出して行方不明となり何處よりか小林方に滯在中の盛敏を誘引し兩名共姿を晦ましたり爲めに同家にては兩人の身邊に交換したる文書を取調べしに頗る悲觀的の文字多く殊にこの

▼厭世觀 より脫する捷徑は[illegible]こして滿鮮に渡り鑛山を發見して成金振を發揮せんこごを要へて渡鮮する旨の手紙を發見したるも念の爲內地の心當りを搜索せしも見出すに至らず兩人共今は的切り朝鮮に渡り居るものご鑑定の外なきにより其の搜索方を兩戶主より朝鮮の各警察署に願ひ出でたり

★朝鮮ホテルの後庭にて……松川大將の歡談……(×は大將)

◎負傷俘虜を撲殺 驚くに堪へたる獨逸の蠻行

敵俘虜は拉し來る勿れ彼等は活かすべきものに非ず殺すべきものなりと達示

獨逸の蠻行と云ふことは今更の談ではないが最近獲す所の情報に據れば眞に恐るべく驚く可き大蠻行を逞つてゐることが判つたのである何でも此頃は獨逸では聯合國の

◆捕虜を 絕對に引受けない事にしてゐる其點に就て獨逸の司令部よりの達示に依ると戰鬪中如何に降參せる敵と雖も決して之を俘虜として拉き來る勿れ渠等は活かすべきものに非ずして殺すべきものなりと云ふにある最近敵軍將校の談を聞くに渠等の蠻行が如何に慘酷であるか、判る曰くソアソンの戰ひの如きは佛軍は眞個

◆不意打 を喰ひ味方の損害は實に激甚なる者であつた味方は忽ち數千の死傷者を出したのであるが而も獨逸は我等の負傷兵を如何にして取扱つたか勿論その時は佛軍は最後の一兵まで戰ふが負傷して倒れた勇敢なる我兵は數時間野天に晒され何等の手當を受けなかつたのみか其の時まで活殘つた負傷兵は

◆獨魔の 手に依て悉く撲殺されて終つたのである其等が佛兵を撲殺したこいふ慘るべき武器は而も凡そ五貫餘、鋼鐵にて造られ其太き棒には鋭き尖端を有し之を以て數十時間苦痛に呻吟せる負傷兵を悉く片ッ端から撲り殺したのであるこいふ此の一事は佛軍の

◆復讐心 を刺戟せるこご非常なもので佛軍の某將軍の如きは非常に激怒し『在佛獨逸俘虜を悉く虐殺せよ』こまで叫んださうである

◎漢江觀火大會愈今二日夜(午後八時より)

漢江々畔に開催

漢陽公園上に於て號砲を以つて決行の合圖を爲す

◎コンノート殿下 ◇◇加奈陀にて◇◇日本天皇陛下の爲め 突然乾盃を爲させ給ふ

コンノート殿下には御歸途ヴヰクトリヤに於ける加奈陀總督の歡迎宴に臨ませられ席上突然日本天皇陛下の爲に乾盃せられ宴に列なれる邦人に多大の感動を與へたり尙殿下には浮田領事に對し日本滯在中の愉快を御物語ありたり(合同通信電報)

◎常備消防手が水泳練習 一日から廿日間每日漢江で 水泳こ共に短艇の操縱も敎授

火ご水この中で活動する消防手は火災、水難に際して死力を盡して働くべき職掌柄だけに京城常備消防隊でも心身鍛錬の爲め每年夏の頃は水泳の稽古を演つてゐる今年も八月一日から龍山浦流域の漢江で水練及び潛水演習を開催するここゝなつた其の期間は

◆晴天二十日 間ご定め每日午前十一時から午後三時迄こし雨天の日は止めて兎に角八月中一杯に終了する豫定にして居る其の場所は龍山浦の對岸漢江の砂原に陣屋を設けて小熊消防主任警部監督の下に大河童連は撓つく炎天の下で急流の中を跳廻るこいふ勇ましい練習振を發揮するこいふ趣向である、而して

◆憲兵警察の 職員ご消防組員の家族は係員の承認を經て隨意參加し得ることにしてある是等萬一の急に備ふる爲め警備船兼號は常に附近を巡邏し救命器十個も準備してある警務部では一般に案內狀を發して居るが只今は漢江が增水して居るから何れ八月三四日頃を

◆振り出しに して着手するさうである新習生は常備消防手で消防手中の元海軍機關兵曹成尾小八、一等水兵の[illegible]同じく宮本孝太郎外一名が指導監督の任に携はることになつてゐる

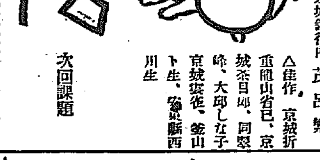
◎俳句會 五の日十の日會の主催にて四日(日曜)正午十二時より會場旭町黄島谷鳥丸にて開催の筈兼題「迷子」五句以上會費三十錢當日持參の事にて大方男猛諸士の參會を歡迎し期待すと

讀者文藝(一等には五十錢の切手を呈す)

△篩める

◎兎(一等) 京城本町二京城銀行內 茂呂繁

△佳作 京城折重、龍山省巳、京城柔目卿、同憂峰、太郎しな子、京城寅徙、釜山卜生、安東縣西川生



次回課題

運動界

▲安東軍破る 既報の如く七月三十日午前十時より西鮮日報主催平壤對安東軍の野球試合は平壤中學校グランドに於て花々しく開催、兩軍猛烈なる接戰を爲し遂に三對三にて平壤軍の勝利に歸したり當日は炎熱焦くが如き酷暑なりしも祭日の爲め正午頃には流石に廣きグランドも觀衆を以て立錐の餘地なく非常の盛會を極めたり

祝觀火大會 專賣特許宮崎式ペーチカ築設 土木建築請負業 宮崎組龍山事務所 組主 宮崎吉太郎 京城漢江通八番地 電話五四一一番

祝觀火大會 龍山驛前 太陽館本店 電話一一六番

祝觀火大會 京城府南大門通四ノ五四 駿府商會 電話二一六一番

祝觀火大會 土木建築請負 諸官衙御用達 電氣器械販賣 私設電話工事請負 小野田セメント販賣 運送業 高島周祐 京城明治町二ノ一〇四 長電話五七三〇番

祝觀火大會 醬油醸造元 萬漬物問屋 都味噌製造元 京城岡崎町(電話九〇三番) 島屋本店 京城北米倉町(電話二三三〇番) 島屋販賣部

祝觀火大會 日清生命保險株式會社 京城支社 京城黃金町二丁目 電話長一四九六番

大好評に付 生ける屍 二日迄日延べ 大正館

祝觀火大會 龍山漢江通電話四四〇番 間組出張所

祝觀火大會 龍山水產株式會社

祝觀火大會 龍山元町 電話五一八 佐々木淸一郎

祝觀火大會 京城府漢江通一一 朝鮮繭糸商行 電話長一五七番

祝觀火大會 純蔘精製造元 高麗人蔘製劑所 京城黃金町四丁目 電話二五九九番 振替京城四三六番 下の關支店 臺灣臺北出張所

新式灸術 あつくなく灸あとに形もつかぬ灸カツケ病には特に効あり 京城本町二釘本商店前横通坂下 伊藤灸術專門

祝觀火大會 株式會社 十八銀行龍山出張所

祝觀火大會 京城岡崎町(電話四三四番) 須川材木店 安東縣一番通(電話四〇五番) 須川出張所 ▲杉足場丸太多數入荷致居候に付御用命被下度候

祝觀火大會 御觀覽場所は當園に限ります 會席御料理 八景園 電話四六番

祝觀火大會 和洋紙 印刷業 京城永樂町二丁目 播本恒太郎 電話二一〇番

祝觀火大會 龍山元町四丁目 漢江鐵道電車終點 漢江遊船 共樂社 電話五二八番 社主 富山武雄

祝觀火大會 京城岡崎町 三幸洋行 主 山名松太郎

祝觀火大會 龍山元町二丁目 藤田安之進 電話五五一番

祝觀火大會 龍山驛前(電話一三五番) 東亞蠶絲株式會社 京城支店

祝觀火大會 龍山漢江通(電話長四二〇番) 大和與次郎

祝觀火大會 龍山元町二丁目(電話三六番) 執行猪太郎

漢江人道鐵橋と鷺梁津

漢江々畔の銷夏郷　將來囑目すべき大工業地鷺梁津

强記なる讀者は定めし其の記憶に存することなるべし。總工費八十四萬圓を投じて客年十月漢江々上に二千七十呎の一大人道橋の架設せられたることを。是によりて鐵道便に據る以外、從來渡船の途無かりし京城仁川街道の交通運輸に關し一大革新を促すに至れり、而して此人道橋の價値及び將來之に據りて促進せらるべき關係各地の進展に就ては當時反覆して詳述せしを以て茲に省くこととし今茲に其の手近なる橋畔の

大有望地鷺梁津

に就て少しく說明を試みんとす而して此鷺梁津なる地は何が故に有望なるか、乞ふ先づ閑に乘じて此地に足を入るれば何人か其の前途に對して洋々たる望みを囑せざる者あらんや鷺梁津一帶の河岸は

未來の大工業地

なり、早くも機を視るに敏なる企業家は來りて鷺梁津に工場を設せんとし鈴木商店の如き此地に撰鑛場を設け常に豐富なる貧鑛石を撰礦すると共に一面其の

江運を利用して

搬送の便に資せり其の他將來此地に起るべき工場は多種多樣なるべく今後幾何ならずして鷺梁津の沿岸に煙突の林立すべきは恐らく何人も想像するに難からざる所ならん、何が故に然るか、コハ用水の潤澤なると水陸兩樣による運輸の便極めて大なるに據る。鷺梁津の前途は夫れ洋々たる春海の如く將來の盛運期して俟つ可きものある

風光殊に明媚也

と共に更に赤鷺梁津の沿岸は故に遊覽地としても大なる價値を有す現に漢江の流れ悠々たる所、其の左岸にある鷺梁津の懸崖には崇高莊嚴なる漢江神社あり、涼風脚下に起りて

夏猶ほ冷やかなる

ところ、神前に禮拜すれば自ら塵外の想ひあり、或は水清く砂白き水源池に遊び更に月波亭を訪へば

浦畔の夕は風涼

しく月出でては江上に銀波を浮べ

漢江人道鐵橋

ん、あゝ鷺梁津、春なれや、淡靄を浮べ、秋なれや、白雲紅葉に搖曳す。あゝ鷺梁津！花に好く夏に好く月に好く

更に雪に亦可也

是れ實に吾人の觀光地として風光明媚の鷺梁津を推す所以也。記して茲に至れば鷺梁津は實に將來有望なる大工業地たると共に京城附近に於ける一大觀光地と稱するを得べし

莊嚴の氣溢るゝ　人道橋畔の漢江神社

◆◆納涼地としても最適の場所◆◆

漢江人道橋を渡ると直左手に聳立たる綠樹に圍まれた崇高莊嚴なる一廓があるこれぞ土木建築界の巨頭志岐組の建立した漢江神社のある所社は大正元年十月十日造營せられたもので

▼境內面積　一萬七千坪　菅原大神、金刀羅大神、宮地嶽大神を奉祀し外に熊皮江稻神社及び志岐神社がある、志岐神社は志岐家の祖先たる志岐

▼林泉公の　分靈を奉祀したものである、由來鷺梁津は勝景に富み眺望の好い處が尠くないがその鷺梁津でも漢江神社の境內は殊に奇岩蒼樹の風致に富み且つ淸淨の氣が漂ふてゐる、のみならず炎暑燬くが如き昨今でも滿山を蔽ふ

▼綠樹の陰　には涼風自ら湧くなど納涼地としてもお誂らへ向きの場所である爲め參拜旁々杖を曳く男女引きも切らず境內は押し返すやうな賑ひを呈してゐる尙此境內は廣い上に高臺と來て漢江一帶は手に取るが如く望見することが出來るから本社の

▼觀火大會　を見物するには最も適當な場所であらう、人道橋からは東に四丁河邊の小徑を辿れば數分にして一の鳥居に達する

漢江神社

眺望の好い月波亭　優良種を集めたる荒井牧場

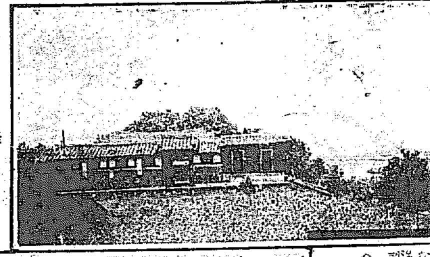
月波亭＝鷺梁津＝その名からして旣に詩的である、汽車で漢江の鐵橋を渡れば間もなく鷺梁津の驛頭滴るやうな綠につゝまれた景勝の一角を占めて

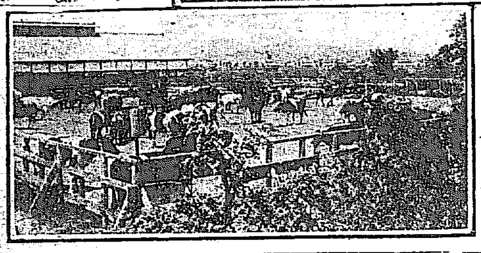
◇古典的風雅　な宏大な亭がそゝり立つてゐるのを見るであらう、これが有名なる月波亭である論山荒井初太郎氏の所有であるが其昔は朝鮮貴族のものであつたとや荒井氏の所有に歸してから最う十數年にもなるが自然の美に更に人工を加へて春の花秋の月四季夫れ夫れの眺めに富んでゐる若し夫れ亭々として天を摩する庭內の大銀杏の下に起てば枝から枝を葉から葉を輕く流れて來る風の涼しさ

◇碧水悠々　たる漢江は直眼の下に宛ら巨人の帶の如く遊り、遙の彼方には南山北岳が無心に笑つてゐる、その眺望の雄大さ自然の一大パノラマで外では到底味はれぬ靜寂な仙境である、所有主たる荒井氏は土木建築請負、鑛山、牧場等を經營し却々手廣くやつてゐるが、殊に氏が力を注いでゐるのは牧場である、牧場は漢江鐵橋の

◇下流廣漠　たる中洲の中にあつて現在八十頭の洋牛を飼養してる、此牧場で得た牛乳は若草町出張所から市中に配達してゐるが氏は乳牛の飼養に特殊の注意を拂ひ糧秣の如きも充分精選の上多大の犧牲を忍びつゝ絕えず純良なる牛乳の供給を憚らぬ爲め却々評判が好く、誰でも荒井牧場と云へば直ちに純良なる牛乳を連想し牛乳と云へば直ちに

◆荒井牧場　を思ひ出すと云ふ位信用を博してゐる、李王職はその最も大切なるお得意で年々李王職に納める牛乳は尠からぬ高だと云ふ事である、尙月波亭は常に開放してあるから一般遊客に取つては非常に便利であらう


月波亭


荒井牧場

朝鮮で始めて出來た鷺梁津の撰鑛所

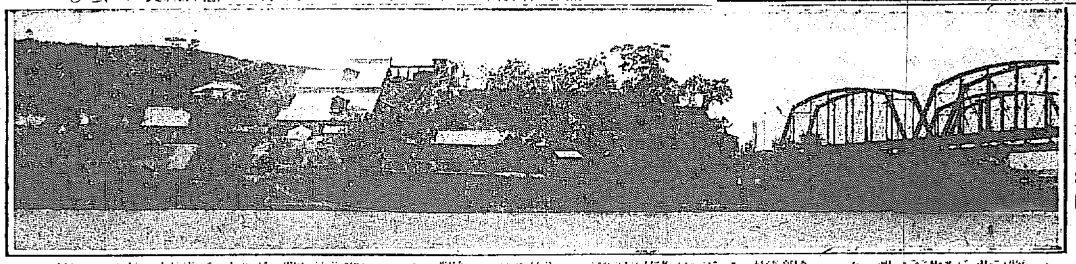
南大門驛發の列車で漢江鐵橋を渡る者は向岸の山腹に西斤陵の森を背に洋々たる漢江の流を前に一大工場を見るであらう、是ぞ即ち鈴木商店の經營に係る鷺梁津撰鑛所である、同所は朝鮮に於ける鑛業界に未だ金、銀、銅、亞鉛等の混合鑛石乃至低級品位の貧鑛を利用すべき選鑛機關なく徒らに不純分として犧牲に供せらるゝか或は

△埋沒放棄せ　らるゝを遺憾とし國家的見地より率先して此の地に工場を設置したのであるが水陸輸送の至便なる點に於いて先天的工業地と言つても決して過言ではない、殊に京釜、京元、京義、湖南線等よりの原鑛は鷺梁津驛より軌道にて

△漢江流域　のものは荷揚場より『インクライン』を以て工場上部に供給するやうになつて居る其の動力の如き目下は京電より百二十馬力を仰いで居るけれども將來に於ては『ボイラー』を設置して工場用動力を自給すると共に冬期保溫裝置をなす計畫である目下一晝夜の撰鑛能力は粗鑛約五十噸其の方法は原鑛を適當の大さに破碎し比重の差を利用し水中にて各鑛を撰別するやうになつて居る其の原鑛の大部分は一より半以上にて分獵を全うする計畫であるが取扱ひ鑛量の約二割は銅、鉛、亞鉛の

△密混合物　と見做しこ等は一ミリ以下に碎き粉末として淘汰盤を以て分類するのである工場敷地は約一萬四千坪工場建坪約一百六十坪倉庫事務所社宅約五百坪人夫約百名を使用しつゝあるが尙ほ同商店に於いては日を逐うて工場の擴張に努めつゝある因に同撰鑛所に於いて撰鑛せる金、銀、銅、鉛は岡山同商店の日比製錬所に亞鉛は

△彥島製錬所　に運送し更に精錬の上神戶本店に於いて販賣せらるゝものであるが鷺梁津撰鑛所長としては斯界に造詣深き工學士の附勳一郞氏である


鷺梁津鈴木撰鑛所

涼しい鳳山遊園

新龍山終點から水の上の道十町弱　◇けふ觀火會の會場に最も近い見晴しの丘　二萬坪の園內の涼しい景趣よ！

新龍山の終點で電車を乘捨て眞ッ直に漢江人道橋を渡りきつてより牛町あまり、仁川水道水源地の前を左に二丁近く登つた突當りの

◆大漢江　の景勝なる小高い丘の一角を占めて、漢江橋が落出した名所、また實に鷺梁津の繁榮の魁として櫻の頃に開園されて今は秋涼しき川風をしたひ來る納涼客の杖を止めてまた夏季に於る

◆◆納涼の　ための名所として其の風致を稱されてゐる。これ迄纔に短い松がところどころに生ひてゐたに過ぎなかつた小丘が鷺梁津の有力者土木荒井德一氏によつて天與の形勝に

◆◆二萬坪　の園は拓かれ廣い園內を四方に通ずる木下蔭なす道は走りさては十棟餘りに作りなされた四阿屋風の閑雅なる亭には、見るからに涼しげなる岐阜提灯のつられて川面吹きくる風は此處に愈々の

◆◆涼味を　豐かにして紳士の理想地として其處休憩所の椅子を賑してゐる、立つて鳳山の上に登れば深綠の森を湛へて靜かに下る大漢江から靈島の平野

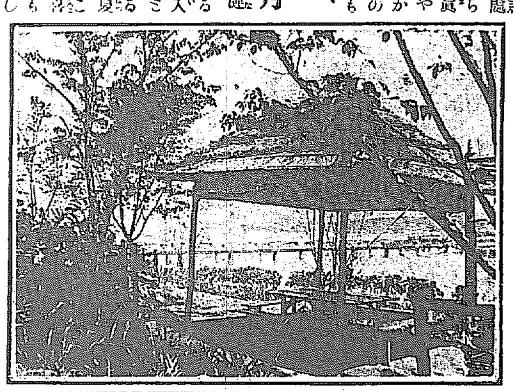
◆◆麻浦の　連山さては上流西氷庫の江面まで指呼する處一ことして絕ならぬはなき處を眞帆片帆の河船や紅提灯ゆらめかし行く屋形船の姿も涼しく、もし夜に入れば、月夜にさては

◆◆星月　夜に夜の漣のさゞめきしるく屋形の船に入れた灯が點々として流れて下るの景趣は實に夏の夜にして、この夜にして、更に一段の喜びを持ち來るものであらうもし亭にまた、園內納涼客のために遊戲の裝ひして待つ丸萬の

◆◆卓子に　倚つて淸涼飲料を呼ぶべくば、その白布に蔽くは氷の如く冷されたる、麥酒、サイダー、シトロン、茶にさてはお菓子、果物に、總ては備へられて、しかも京城市內と同じ價格で

◆◆佳賓を　迎へようとのふのである。別てはこの良夜の快樂本社の觀火大會はこの園に最も近く開かれて、龍山に對して名づけられたりと稱さる、此處鳳山の形勝が大漢江を美しくも差挾んでの夜觀火の客の足を止めるであらう。龍山終點から

◆◆約十町　殆んどすべての道は漢江橋の水の上に終つてゐる、脚下の汗の水風に乾きさる頃鳳山遊園に到る橋上、觀火を見、水を隔てての渡橋二十分の分時は實に吾人に快絕そのものであらねばならぬ。


鳳山遊園

◆靜軒居即興

烏兎・桂堂兩居士と三人で涼し會を催し、夏の一夜を句讀から、句作やらに興じた隣から聞ゆる蓄音機も、電燈に見る庭の夏草も皆句材であつた　―七月三十日の夜靜軒記―

電柱の萎て只在る暑さ哉　烏兎
石竹の風死す街や蓄音機　同
廿草を遣き据て明す涼哉　同
○
綠に晒き酒酌む夏の夕哉　桂堂
蓄音機に人形する暑さ哉　同
夏草や珍客二人端居せる　靜軒

口涼夜吟

其の十四　大正七、六、二九

夏野

夏野園一徑に續く牛車哉　田打夫
夏野の風入閑散や驛長室　同
雨雲の杉にからまる夏野哉　水子
夏野人に海の日か照り反す　迦南子
草枯し鳥立たす夏野哉　紫光
風を凌ぐ宴侍め夏野人　昼夜子

讀者の領分

▲相場研究生に答へん、本誌卅日の朝刊中の疑問の件に付御數驗すべし、さりながら本欄にては斯りある字數なれば答へ申す事を得されば住所を本欄に御通知あれ文書にて御回答申す（親切生）▲京城自動車界の方々に御質問申します、私は京城にて運轉手に成り度き希望の者でありますが先づ何處に行て御願したら運轉手見習にして下さいましようか、多少、許掛のことに經驗があります學力は高等小學卒業です、又運轉手と成るには如何なる履歷を得、資格を得なければならぬか、幾成して下さる所がありますなれば何卒御教授御依賴し升（スピード狂）▲世界の中で何千萬圓か費して築せる室では何處が一番綺麗で大きいですか一寸教へて下さい（滿州一僧者）▲河の謎の樣――ぼうし樣へのドナウ河の御答は紙上で御願しますれば我々まで僥倖に預ることが出來ますで夢ばしい次第だと思ひます曲が長ければ其の所だけの謡と歌でもよろしう御座いますから是非どうぞ（洋樂狂）▲盛なる聖人的のことを言ふも他人のことよりも自分のことを反省して欲しい些言あるべし君の言ふが如きは世間の人が毎日爲することばかりだ○○生なるものは誰かは不知共直接本人に反省を促し給へ又君にしても言ふだけ人格が下落すると思ふぢやないか他人の人格だとか成張り散らすとかなぞは宜いぢやないか君若し成張る資格があるなれば大にやり給へ（無名生）▲七つ道具を背負てさまよひ一時は人に爪彈きを受けたる武藏坊は俺の理想とするところ生元より辨慶の智勇なく又學力もなし只其意氣地の哀れ渡世術に摑き四十歲の童子今迄むに逃なく退くに家なし嗚呼一日も早く牛若丸の如き己れを知る者の爲めに犬馬の勞を盡し以て一腕の消を快く吸はん哉希ふのみ（泣辨慶）▲新龍山方面には近頃芸妓町邊から流れ出した怪しい女が多くなつて大分風紀が紊れたさうだ（川目生）▲トマト好生にお答へしますトマトはオムレツ、サラダの附合せにすると味もよく色が美しくて結構です作り方及びトマトソースの作り方は長くなりますから別に御尋ね下さらば御答へします（旭町さみだれ）

妻の心　五十四

小林蹴月作　武內桂舟畫

九の四

『何ですこと。禮子さん穩かならんお言葉ですね。』

『つい、申し過ぎまして失禮しました、併し、妾の今申した事がお氣に觸つた風を見ますと、貴郞は矢張若龍さんのお味方なんでせう。』

『知らんですよ、若龍と云ふ藝妓のお話ならば、現に先達てから問題になつてる町川さんの御關係筋ぢやありませんか。』

『で御座いますから何も、良人の御關係筋でないとは申さないんです只貴郞が裏面的の運動を遊ばして良人を好い加減な玩弄物にして下すつた御親切を感謝致しときたいと思ひますの。』

本來の禮子ならば、舌の先が腐つたとて、這麼思ひ切つた事を口へ出すべき女ではないが、現に自分は從兄妹同士と云ふ密接の緣故者で居ながら、自分の良人たる久三郞と、競爭の地位に立つて、一人の女を爭ひ合つて居るのはまだしも、裏面側面から手を廻して、良人に拭ふ可らざる侮辱＝失望＝憤怨の種を增さしめた事のそれが、禮子に取つて、怎麼にも憤慨せずには居られなかつたのである。剩つさへ、良人は良人で、順吉郞と禮子とが腹を合はして、居るものの如く邪推し、こもすると、その事を口外して、禮子にさまざまの無理難題を持ちかけ、何れは、順吉郞と禮子と夫婦になるべき運命――內約が定まつてゞも居るかのやうに難舌を吐くのは、要するに、此の順吉郞が若躍く出入するからの事である。母喜久子の意志には逆ふかも知れぬが、禮子の爲めには、正しく獅子身中の蟲である。禮子は、如何にかして、此の順吉郞を思ふさま辱めて、二度と再び自分の側へも寄付け得ない程に隔ててやりたいと思ふのが、昨日今日の第一希望であつた。特に彼の若龍に面會してから後の禮子は、順吉郞を視る事宛ら鬼畜よりも怖ろしく、蛇蝎よりも惡らしくなつたのである尤も、順吉郞の方でも、內々はそれに氣付かぬ筈はないが、自分には何にせよ、町川家の最上權威者たる喜久子が附いて居るので、頭から温順一方の禮子を呑んで掛つて居るのである。

『禮子さん、貴女は眞面目に然う云ふ事を考へてお在なんですか。僕が若龍と共謀して、町川さんを翻弄したなんて事を……。』

『眞面目に然う考へて居りますんです。一切は若龍さんの口から直接に聞き取りましたんですもの。』

『は、はア、然うですか。貴女が然う考へてお在なら、已むを得んが、他日必ず反證の擧る時がありますから、見てお在なさい。』

『何と貴郞が被仰つても、妾は然う信じてるんですから致し方ありません。同時に、妾から貴郞へお話申上げときますけれども、過去の事は過去の事と致し、今日以後貴郞は懷顧、妾の病間へお立寄り下さらぬやうお願ひ致します。』

禮子は是を言ひきるまでには、可なり胸の中が苦しさうであつたが、遂に意を決して云ひきつたのである。

『僕に此處へ立寄つては不可ぬと云ふんですか？』と、順吉郞の語氣は、流石に尖つた。

『はい……勝手がましう御座いますけれども、平にお斷り申上げます。』

『ふ、ふ、ふむ、禮子さん、貴女は町川さんが餘り極端な行動をするので氣が少し變になりや爲ませんかね。』

『そりや多少は變になつてるかも知れませんわ。思ひ詰めると何事を仕出來すかも分りませんから、その點から申しても、妾にお近寄き下さらない方が、貴郞のお爲で御座います。』

『いや、精神に異狀を呈してるなら、僕も別段云ふ事はありません。早速お詞に從つて引退るとしませう。』

蜻蛉の勸誘が、飛んだ方面へ外れ走つて、從兄妹同士の間に論となつて了つた。順吉郞は、今に見よとばかりの凄じい顏して、席を蹴立てながら立ち去る。默つて、此の顛末を傍聽して居たお俊は、思はず溜飮を撫で下した。

京日案內　普通　番外

電話讓受たし　南大門通五ノ一二　齋藤商店　電二八一〇番

店員二名入用　年齡十七八より廿四五迄にて高等小學卒業の者但要保證人　南米倉町　電一六三〇　京城製油所

英語夏期講習會　八月五日より開始　毎週三回月水金午後七時半より　敎金四圓中學卒業以上のもの　南大門通漢城銀行向　京城青年會

計算係二名入用　簿記筆蹟の達者　本人來談（午前八時迄に）　古市町一四　近藤運送店

◎乳母至急入用　出産後一年未滿の者報酬面談の上　市內長谷川町五十八の四　山口

◎有給外勤社員招聘　履歷書携帶來談を乞ふ　電話三〇二一　京城若草町郵便ポスト前入　報國公債株式會社朝鮮支部

◎讓店　十餘年間經營せる日鮮人相手の雜貨商　事情に依り至急讓り度し　不得止　希望者は社內荒川へ照合あれ

◎女事務員入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　京城本町一丁目　Ⓗ平田商店

◎ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

最新刊　書名　著者名　定價
ゲーリー式の學校　田中廣吉著　特價七拾五錢
詐病及鑑定法　木谷　二、三〇
實驗園藝植物學栽培案內　初田初野共　七、五〇
兒童敎養講習錄　久保良英　一、五〇
戰時利得稅法要義　西岡晉　一、二〇
現代の空氣化學工業　柳原英一　一、八〇
獨逸を中心に　赤木格堂著　定價武圓參拾錢
兒玉太將傳　杉山茂丸　一、二〇
日本武士　田中靈成　一、二〇
熊澤蕃山　碧瑠璃園　一、二〇
日印貿易の犧牲者　平松倉造　二、五〇
簡易寫眞のうつし方　大塚貞治　六〇
山獄牛舌　自然子　六〇
日蓮珍話　羽鳥道　七〇
京城本町　大阪屋號　振替京城二一一七

◎水産貿易活躍　▲禁令大打撃なし　▲異常の輸出膨脹